

令和7年度
ICT化等機械装置等導入事業
(通称：畜産ICT事業)

「事業完了報告」、「支払請求」
の手続きについて



この手順書について

- 本手順書は、ICT化等機械装置等導入事業（畜産ICT事業）の交付決定以降の手続き（事業完了報告、支払請求等）を解説したものです。
- 機械装置導入後の速やかな補助金の支出をさせていただくため、ご一読の上、書類の作成等をお願いいたします。

- 機械装置の導入は2月末までに完了
- 応援会議からの支払請求は3月15日までに提出

令和7年11月

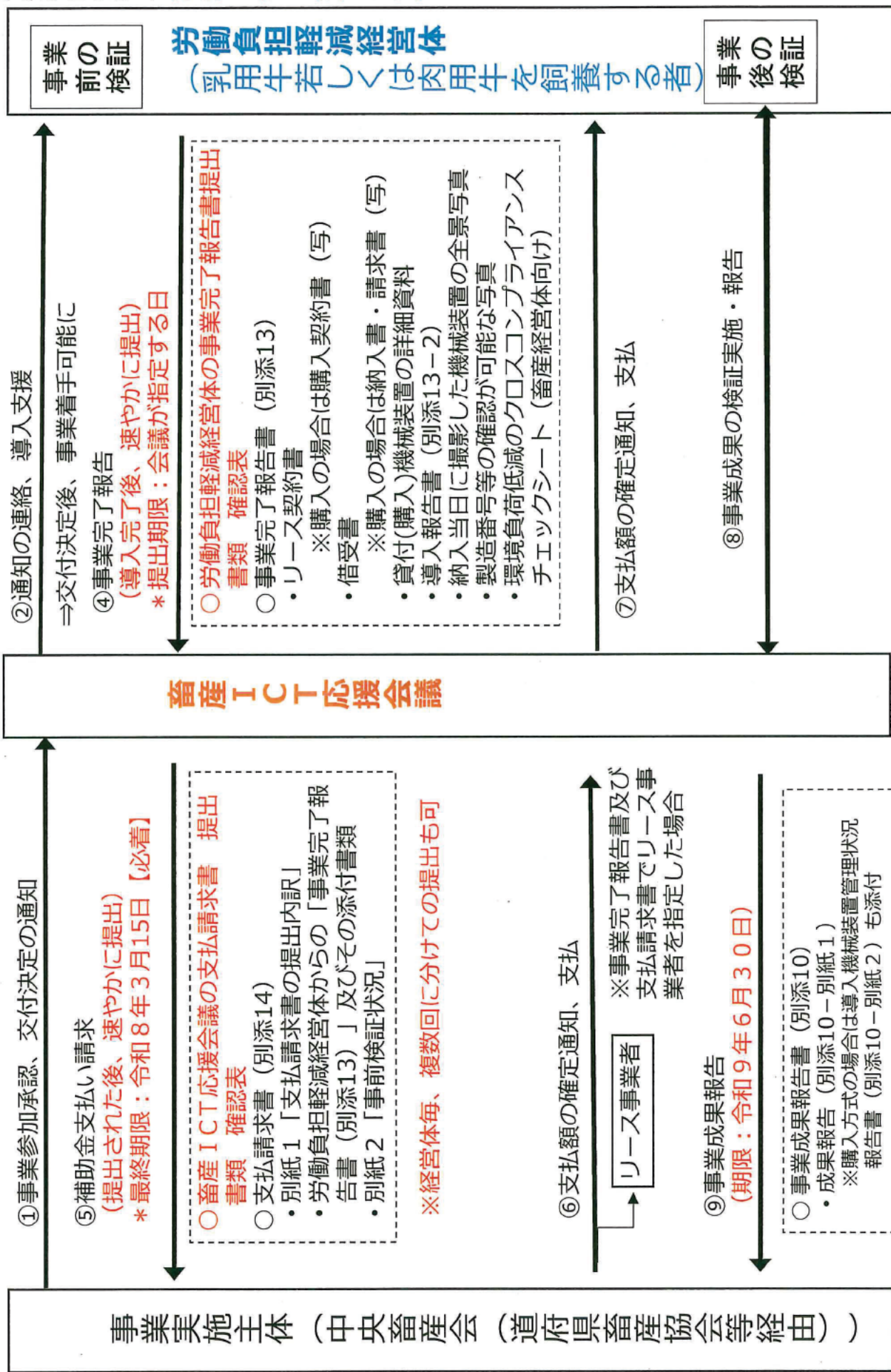
公益社団法人中央畜産会

目 次

資料 1	I C T 化等機械装置等導入事業の手続きフロー（導入後）	1
資料 2	機械装置の導入について（補助金の交付決定後）	2
資料 3	「事業完了報告書」、「支払請求書」の提出に当たっての留意 点	3
	【労働負担軽減経営体で作成・提出 → 畜産 ICT 応援会議（とりまとめ）】	
	I 事業完了報告書（別添 13）	3
	1 作成・提出に当たっての注意	3
	2 報告書作成に当たっての注意	3
	（参考 1）「7 年度 ICT 化等機械装置等導入事業貼付用シール」の貼 り方に関する留意点	9
	（参考 2）本体以外に写真撮影及びシール貼付の必要な 付属機器等	12
	（参考 3）導入した機械装置（本体・付属機器）の記録写真の撮影に関 する留意点	13
	（参考 4）事業完了報告に係る写真撮影参考例	15
	【畜産 ICT 応援会議で作成・提出 → （都道府県窓口団体経由）中央畜産会】	
	II 支払請求書（別添 14）	39
	1 作成・提出に当たっての注意	39
	2 請求書作成に当たっての注意	39
資料 4	提出書類様式集	41
資料 5	コメント・記載例について	57
	（参考 5）I C T 化等機械装置等導入事業における成果検証の考え方に ついて	75

畜産ICT事業（ICT化等機械装置等導入事業） 手続きフロー（導入後）

③ 機械装置の導入（令和8年2月末日まで）



(補助金の交付決定後) 機械装置の導入について

【畜産 ICT 応援会議は、】

中央畜産会からの「補助金の交付決定通知」を受領した後、別途承認を受けた「事業参加承認通知」に基づき、労働負担軽減経営体に連絡し機械装置の導入を推進して下さい。

【労働負担軽減経営体は、】

畜産 ICT 応援会議より補助金の交付決定を受けた旨の連絡を受けた後、承認を受けた「事業実施計画」及び「事業参加承認通知」に基づき、リース会社と以下の手順で機械装置の導入、契約等を進めて下さい。

手順 1：リース契約の締結〔労働負担軽減経営体⇔リース会社〕

- ① 参加申請時に申込書を添付したリース会社とリース契約書を締結して下さい。
- ② 契約日は、中央畜産会からの「補助金の交付決定通知」及び「補助金の変更及び追加交付決定」を通知した日以降でお願いします。
- ③ リース会社と締結した「リース契約書（写し）」を事業完了報告書の添付書類として提出していただくことになります。

手順 2：売買契約の締結〔リース会社⇒機械販売会社等〕

※ リース契約締結後、リース会社から販売会社に対して、事業参加承認を受けた機械装置を発注してもらって下さい。

手順 3：機械装置の導入

※ 事業参加承認を受けた機械装置の導入を行って下さい。

手順 4：借受書の提出〔労働負担軽減経営体⇒リース会社〕

- ① 労働負担軽減経営体に機械装置が導入完了しましたら、リース会社に対して「借受書」を提出して下さい。
- ② リース会社に対して提出した「借受書」の写し（借受日が記入され、押印してあるもの）を「事業完了報告書」の添付書類として提出していただくことになりますので、必ず写しをとるようにして下さい。

手順 1 から 4 までの機械装置の導入が完了しましたら、労働負担軽減経営体は「事業完了報告書」を畜産 ICT 応援会議に提出して下さい。

「事業完了報告書」、「支払請求書」の提出に 当たっての留意点

書類提出時期：畜産 ICT 応援会議は機械装置の導入完了後、速やかに提出。

※令和 8 年 3 月 15 日（中央畜産会（道府県畜産協会））最終受付

I 事業完了報告書

【労働負担軽減経営体が作成・提出 →

畜産 ICT 応援会議（とりまとめ）】

1 作成・提出に当たっての注意

- ① 労働負担軽減経営体は、機械装置の導入が完了したら、事業完了報告書を作成し、畜産 ICT 応援会議に提出して下さい。
なお、応援会議が複数の経営体分をとりまとめて中央畜産会に提出する書類の最終提出期限は令和 8 年 3 月 15 日でありますので、実際は経営体の属する応援会議が設定している提出期限を確認の上、対応して下さい。
- ② 令和 8 年 3 月 15 日までに、応援会議を経由して中央畜産会に書類が提出されない場合は、補助金のお支払いができないこともありますのでご注意ください。
- ③ 複数の労働負担軽減経営体や機械装置を導入する場合には、参加承認のあった労働負担軽減経営体や補助機械装置ごとに提出することも可能です。

2 報告書作成に当たっての注意

(1) 提出書類

A 労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表

（本手順書の 42～43 頁、58～59 頁参照）

B 事業完了報告書（別添 1 3）

（本手順書の 44～46 頁、60～64 頁参照）

(2) 添付資料

(A) リース契約書（写し）

- ① リース会社と締結したリース契約書の写しを提出して下さい。

- ② 事業参加承認申請書に添付したリース申込書の記載内容と異なる場合、補助金のお支払いができませんのでご注意ください。

なお、「リース契約書（写し）」は、次の事項について確認を行いますので、確認できる写しを提出して下さい。

リース契約番号、契約日、契約者の住所・法人名称・氏名、機械装置の型式、数量、販売事業者等の名称、リース期間、機械装置の取得金額と補助金額、設置場所等

(B) 借受書（写し）

- ① 導入完了後にリース会社に提出した物件借受書の写しを提出して下さい。
- ② 事業参加承認通知書及び要望調査票（または参加申請書）提出時に添付した見積書（写）に記載された内容と異なる場合、補助金のお支払いができませんのでご注意ください。

(C) 貸付機械装置の詳細が分かる資料

（機械装置ごとの銘柄、型式及び台数）

- ① (B)の「借受書」及び(D)の「実施状況報告（対象機械装置の詳細報告）」を提出いただくことで、代用も可能とします。
- ② 上記で提出された書類から、事業参加承認通知書及び要望調査票（または参加申請書）提出時に添付した見積書（写）に記載された内容の納入が確認できない場合、別途、追加提出を求めることがありますので、留意して下さい。

(D) 対象機械装置の導入報告書

本報告書は、交付決定承認のあった導入計画により機械装置の設置完了の確認を行う報告書です。

具体的には、提出いただいた写真により本報告内容である型式、製造番号などを確認しておりますので、よろしくお願いします。

1 実施状況報告

項 目	記 入 内 容
①畜産 ICT 応援会議名	所属する畜産 ICT 応援会議の正式名称
②労働負担軽減経営体名	事業参加申請書に記載された労働負担軽減経営体名を以下のとおり記入 ・ 個人経営の場合は、「組織名」は空欄とし、「代表者名」に「経営者氏名」を記載 ・ 法人経営の場合は、「組織名」に「法人名称」を、「代表者名」に「代表者氏名」を記載

③対象機械装置の名称	事業参加承認通知書の「機械装置の種類」の欄に記載された内容 搾乳ロボット、 ミルキングパーラー、 搾乳ユニット搬送レール自動、 搾乳ユニット搬送レール手動、 ミルカー自動離脱装置、 自動乳頭洗浄機、 自動給餌機（濃厚飼料）、 自動給餌機（濃厚・粗飼料）、 餌寄せロボット、 自走式配餌車、 移動式ほ乳機 ほ乳ロボット、 ほ乳ロボット（レール式）、 発情発見装置 分娩監視装置 行動監視装置（繁殖管理） 行動監視装置（肥育管理） 行動監視装置（放牧管理） バースクレーパー、 敷料散布機、 のいずれかごとに記入
④製造メーカー名	事業参加申請書の製造メーカー名であり、販売事業者等ではないので注意
⑤型式	事業参加承認通知書の「規格・規模」記載の型式または型番を記入
⑥機械装置製造番号	必ず記入（ただし、販売事業者等にも確認し、当該番号が無い機械装置の場合は「なし（販売事業者確認済み）」と記入） ・ 本体と付属機器で構成する場合は、本体の製造番号を記入 ・ ミルカー自動離脱装置のように、複数の台数が納品されるような製品については、すべての製造番号を記入 ・ 発情発見装置のように、若干台数の受信機（親機）に対して、複数（頭数分）の発信子機（タグ等）が納品されるような製品については、親機の番号を記入
⑦販売事業者等の名称	販売業者等を記入

⑧対象機械装置の納入年月日	動作確認・検収が完了し、導入が完了した年月日を記入。 なお、リース契約している機械装置については、原則、物件借受書の検査完了日（リース開始日）、又は検収日を記入
⑨貸付番号	機械装置の「契約番号」、「協会の標示（リース番号）」、又は「貸付記号」等を記入
⑩所見 ・申請内容と相違ないか ・カタログどおりか ・新品であるか ・試運転の結果どうか ・業者から取扱説明を受けたか	⇒「申請どおり」または「相違なし」と記入 ⇒「カタログどおり」と記入 ⇒「新品」と記入。ただし、中古物件を申請した場合は、「中古」と記入 ⇒「良好」と記入 ⇒「受けた」と記入 ※ 上記のように記入されていない導入報告書は、補助金を支払できない場合があります。 また、上記のとおり記入していない報告、例えば、○×方式とかの記入報告にあっては、その○×の意味内容を再度確認照会することとなりますので、ご指導よろしくお願いします。

2 本事業で導入した機械装置の詳細

- ① 先に提出のあった参加申請書（別添9－別紙1）の別紙内容に準じて整理して下さい。
- ② 自走式配餌車など本体のみの導入の場合であっても、省略せず、必ず提出して下さい。
- ③ 製造番号のあるものは本体、付属機器に関わらず記載をお願いします。

(E) 納入当日に撮影した機械装置の全景写真

(F) 製造番号等の確認が可能な写真

提出された複数枚の写真と、要望した計画内容（見積書）、及び参加承認した内容（型式・数量等）、事業実施状況報告の内容（機械装置製造番号等）と照合し、計画どおり機械装置が導入したことを確認しております。この確認ができない場合は、支払ができない場合もあります。

このため、「導入した機械装置（本体・付属機器）の記録写真の撮影に関する留意点」（13 頁）を踏まえて、機械の納入当日又

は設置した当日に、「7年度畜産 ICT 事業貼付用シール」（9頁参照）を貼り付け、写真撮影を行ってください。

写真の送付に当たっては、導入した全ての機械装置（本体・付属機器）について1台ごとに説明するつもりで必要な枚数の写真を送付して下さい。

写真が白黒の場合、内容が判別できない場合がありますので、必ず写真はカラー版にして提出して下さい。

(G) 環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート（畜産経営体向け）に関する提出資料

事業完了報告書時に提出するチェックシートは、要望調査時に左側の「申請時」の欄にチェックを行ったチェックシートを利用して、右側の「報告時」の欄にチェックを行い、提出して下さい。

(参考 1)

「7 年度 ICT 化等機械装置等導入事業貼付用シール」の貼り方に関する留意点

1 事業の実施を確認する貼付用シールについて

事業を完了した時は、補助対象の機械装置を事業で導入したことを証明する貼付用シール（以下「事業シール」という。）を目の付きやすい場所に貼付することになっていることから、次のことに留意して事業シールを貼付してください。

（実施要領別紙 8 の第 14 の（事業名等の表示）関連）



2 基本的な事業シールの貼付

（1）参加申請書の「補助対象機械の詳細」に記載した「**本体**」及び「**付属機器**」には原則、貼付して下さい。

ただし、本体に一体的に組み込まれている付属機器については本体のみに貼付し、また、装置の集合体（搾乳関係など）については、まとめて1か所に貼付して下さい。

（2）事業シールは、型式や製造番号が記載されている銘板（プレート）と**並べて**貼付して下さい。

（3）機械装置本体に付属する管理ソフトについては、CD等の媒体によりソフトが提供される場合は、CD等が包装されている箱（ケース）に貼付して下さい。

（4）高所に設置する機械装置等については**設置前**に貼付して下さい。

3 対象機械ごとの事業シールの貼付

(1) 搾乳ロボット	① 製品番号等を掲示している付近に1枚貼付 ② 搾乳ロボットに一体的に組み込まれている機械装置は貼付不要 ③ 2台導入の場合は、それぞれに1枚を貼付 ④ ただし、次の付属機器にも貼付 ※ 個体識別ゲート、バッファタンク及び予冷装置、フィードステーション、真空ポンプ、自動記録機器等 ⑤ 管理ソフトを導入する場合は、CD等の箱（ケース）に貼付
------------	---

(2) ミルキングパーラー	① ミルキングパーラーは、いくつかの機械装置の集合体なので、それぞれの機械装置には貼付不要。ただし、付属機器がある場合はそれぞれの付属機器に貼付 ② ミルキングパーラー（全体）の適当な箇所に1枚貼付 ③ ただし、次の付属機器にも貼付 ※ 個体識別ゲート、授乳装置、バッフアタンク及び予冷装置、フィードステーション、真空ポンプ、自動記録機器等 ④ 増設の場合は、増設部分のストール、離脱装置等に台数分貼付 ⑤ 管理ソフトを導入する場合は、CD等の箱（ケース）に貼付
(3) 搾乳ユニット搬送レール（自動、手動）	① 搬送レールは本体となっているので「搬送レール」に1枚貼付 〔※ 搬送レールに貼れない場合は、搬送レールの近くの壁等に貼付〕 ② 搾乳ユニット搬送レールで自動方式の場合は、自動搬送装置（キャリロボなど）1枚ずつ台数分貼付 ③ 付属機器として搾乳ユニット、パイプライン等を導入している場合は全体の分として集乳室等の搾乳施設の見やすい場所に1枚貼付 （例） 自動：レール（1枚）＋搬送装置（台数分）＋その他付属機器一式（1枚） 手動：レール（1枚）＋その他付属機器一式（1枚）
(4) ミルカー自動離脱装置	① 自動離脱装置は1枚ずつ台数分貼付 ② 自動離脱装置のほかに付属機器を導入した場合は、③の「搾乳ユニット搬送レール」と同様に全体の分として集乳室等の搾乳施設の見やすい場所に1枚貼付
(5) 自動乳頭洗浄機	・ 製品番号等を掲示している付近に1枚貼付
(6) 自動給餌機（濃厚飼料タイプ・濃厚・粗飼料タイプ）	① 自動給餌機本体に貼付 ② レール走行式の場合はレールにも1枚貼付 ③ エレベーター、サイレージストッカー、コンベア等の付属機器にも貼付 ④ 管理ソフトを導入する場合は、CD等の箱（ケース）に貼付
(7) ほ乳ロボット（レール式を含む）	① ほ乳ロボット本体に貼付 ② 2台以上の導入の場合は、1台ごとに1枚を貼付 ③ カーフレール式の場合は、カーフレール本体に台数分貼付及びレールにも1枚貼付
(8) 餌寄せロボット	① 製品番号等を掲示している付近に1枚貼付 ② 2台以上の導入の場合は、1台ごとに1枚を貼付

	③ 充電器などには貼付不要
(9) 稲わら細断機	・ 製品番号等を掲示している付近に1枚貼付
(10) 自走式配餌車	① 製品番号等を掲示している付近に1枚貼付 ② 付属機器を導入の場合は、それぞれに1枚を貼付
(11) 移動式ほ乳機	・ 製品番号等を掲示している付近に1枚貼付
(12) 発情発見装置	① 送受信器（ルーター及びゲートウェイを含む）及び監視カメラに台数分貼付 ② タグ付きセンサー及び保定器具等には貼付不要 ③ 管理ソフトを導入する場合はCD等の箱（ケース）に貼付 〔※ 受信器、カメラ等の牛舎の高所に設置するものについては、設置する前に事業シールを貼ってください。〕
(13) 分娩監視装置	① 送受信器（ルーター及びゲートウェイを含む）及び監視カメラに台数分貼付 ② タグ付きセンサー及び保定器具等には貼付不要 ③ 管理ソフトを導入する場合はCD等の箱（ケース）に貼付 〔※ 受信器、カメラ等の牛舎の高所に設置するものについては、設置する前に事業シールを貼ってください。〕
(14) 行動監視装置	① 送受信器（ルーター及びゲートウェイを含む）及び監視カメラに台数分貼付 ② タグ付きセンサー及び保定器具等には貼付不要 ③ 管理ソフトを導入する場合はCD等の箱（ケース）に貼付 〔※ 受信器、カメラ等の牛舎の高所に設置するものについては、設置する前に事業シールを貼ってください。〕
(15) バーススクレーパー	① スクレーパー本体（羽根の部分）ではなく、ドライブユニットに1枚ずつ台数分貼付 ② 動作時に剥がれにくい箇所、汚れない箇所に貼付
(16) 敷料散布機	① 敷料散布機本体に貼付 ② レール走行式の場合はレールにも1枚貼付 ③ エレベーター、ストッカー、コンベア等の付属機器にも貼付

(参考2)

本体以外に写真撮影及びシール貼付の必要な付属機器等

	必要な付属機器等の条件	付属の対象機器等
搾乳関係機械装置の付属機器		
○	導入する搾乳関係機械装置の能力を発揮させるために必要な付属機器	パイプラインミルクカー、真空ポンプ、受乳装置、洗浄装置、真空発生装置、乳量データの自動記録装置、飼養管理ソフト、搾乳関係機械装置の管理ソフト
○	導入する搾乳関係機械装置搾乳ユニット搬送レール（自動、手動）の設置・稼働に不可欠な簡易な資材	パイプラインミルクカー、配管径をサイズアップしたミルク配管、搾乳ユニットとの自動接続に適合するミルクタップ、レール吊下げ支持部材
○	搾乳ロボットやミルクングパーラーを導入する場合の高度化対応装置	個体識別ゲート、搾乳ロボット専用の予冷装置及びバッファタンク
○	搾乳ロボットやミルクングパーラーを導入する場合の群飼において個体能力を発揮させるための飼料給与装置	フィードステーション等
飼料給与関係機械装置の付属機器		
○	自動給餌機（吊下レール式、トロリー式または地上レール式）を導入する場合において、飼料を調製・投入するための付帯装置	サイレージストッカー、サイレージエレベーター、ベルトコンベア、定置式ミキサー
○	導入する自動給餌機、自走式配餌車、及びほ乳ロボットの設置・稼働に不可欠な簡易な資材等	吊下レール、地上レール、トロリー、吊下レール支持部材、管理ソフト
家畜飼養管理機械装置の付属機器		
	家畜飼養管理機械装置の稼働・管理に必要な資材等	管理ソフト
	導入する敷料散布機の設置・稼働に不可欠な簡易な資材等	走行レール、走行レール支持部材、敷料用ストッカー、ストッカー用エレベーター、管理ソフト

(参考3)

導入した機械装置（本体・付属機器）の記録写真の撮影に関する留意点

1 事業の完了報告において提出する記録写真について

畜産ICT事業により導入した機械装置については、事業完了報告において機械装置の記録写真を提出することになっていますが、記録写真の不備が散見され追加写真の提出のために事業完了報告の確認（型式・数量・製造番号等）・審査が遅れ、補助金の支払事務に支障を来すことが発生している状況です。

そのため、記録写真の撮影については、事業完了時における記録写真の撮影の仕方を整理しましたので、次のことに留意して記録写真の撮影を行って、写真の提出をしてください。

(1) 撮影範囲

導入した機械装置の検証写真については、参加申請の別紙「補助対象機械装置の詳細」の記載内容と照合できるよう、機械本体及び付属機器に事業シールを貼って撮影します。

※ 事業シールの貼付方法については、「I 事業シールの貼り方に関する留意点」（9～11 頁）を参照し、付属機器については可能な限り貼り付けてください。

(2) 撮影方法

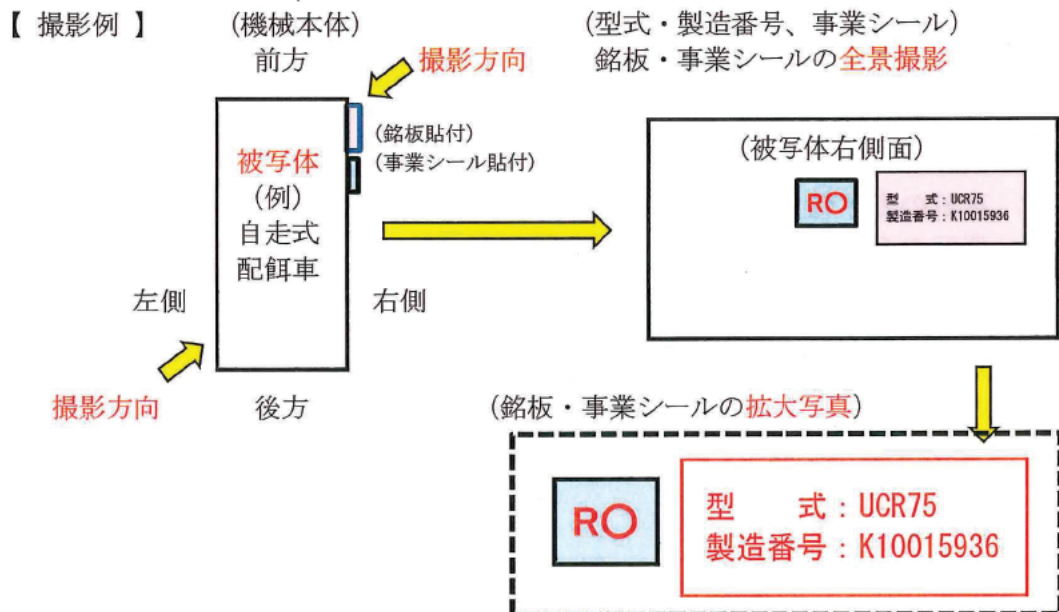
① 単体で作業ができる機械装置（例：餌寄せロボット、自走式配餌車等）

a 機械装置本体の撮影

- ・ 写真は屋外（屋内は照明を準備）などの明るいところで撮影
- ・ 写真は前後左右の四方面から全景を撮影
- ・ 四方面撮影が難しい場合は、下図とおりの斜め二方面から撮影

b 機械装置の型式・製造番号の銘板（ラベル）及び事業シールの撮影

- ・ 機械の銘板（ラベル）、事業シールが貼付されている面の全景を撮影
- ・ 銘板（ラベル）の記載内容が確認できるようクローズアップで撮影
- ・ 写真はカラーで撮影して、カラーで提出して下さい。（白黒だと室内での写真は、機械装置で判断ができないため、カラーで提出して下さい。）



- ② 施設に据え付けられる機械装置（搾乳ロボット、搾乳ユニット搬送レール等）
施設に据え付けられる機械装置については、施設に据え付けられた状態で前項①の撮影方法を基本として撮影し、機械本体とともに導入した全ての付属機器も同様に撮影してください。
- a 複数セットの機械装置の撮影（搾乳ユニット搬送レール＋ミルカー自動離脱装置）
- 施設に据え付けられた搾乳ユニット搬送レールのミルカー自動離脱装置の検証写真は、導入したミルカー自動離脱装置の全ての台数が確認できるように寄せて全景を撮影
- b 機械装置本体と一体的に導入される複数の付属機器（タグ等）及びシステムソフトの撮影（発情発見装置等）
- 施設内に点在して設置される機械装置等については、機械装置等の設置前（納品時）にそれぞれの機械装置（付属機器を含む）等を撮影
 - システムに付帯するタグ及びネックバンド等については、製品を一つずつ撮影するのではなく、全ての製品を並べた状態又は梱包箱のふたを開いた状態で納品数量が確認できるよう一括撮影するとともに、製品の一部を抽出して型式・製造番号が確認できる写真を撮影（※併せて型式・製造番号等の一覧を作成して提出）
 - 機械装置を制御するシステムソフトが附帯している場合、CD-ROMと説明書等を並べた状態の写真
 - システムソフトの現物がなくパソコン等にインストールされているものは、システムを立ち上げたディスプレイ画面の写真

(参考4)

事業完了報告に係る写真撮影参考例

(1) 搾乳関係機械装置

・ 搾乳ロボット（フリーストール用）	16
・ ミルキングパーラー	17
・ 搾乳ユニット搬送レール（ミルカー自動離脱装置付き）	18
・ 自動乳頭洗浄機	20

(2) 飼料給与関係機械装置

・ 自動給餌機（吊下げ式）	21
・ ほ乳ロボット（据置式）	22
・ ほ乳ロボット（レール式）	23
・ 餌寄せロボット	25
・ 自走式配餌車	26

(3) 家畜飼養管理機械装置

・ 発情発見装置（首タグ）	27
・ 発情発見装置（足タグ）	29
・ 分娩監視装置（監視カメラタイプ）	31
・ 分娩監視装置（体温測定タイプ）	33
・ バーンスクレーパー	34
・ 敷料散布機	36

・ 写真撮影の留意点はP 13～14を、
台紙はP 55を参照してください

【搾乳ロボット（フリーストール用）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇事業）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 搾乳ロボット（型式：VMS V300 製造番号：JH-802474860001-TU）

見やすい箇所に事業シールを貼

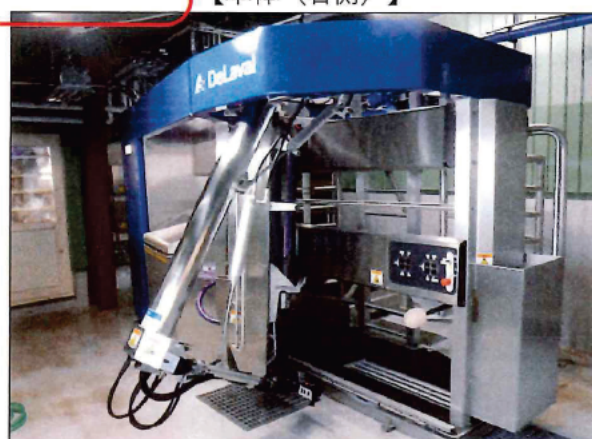
付して全景写真を撮影

（可能な限り銘板付近に貼付）

【本体（左側）】



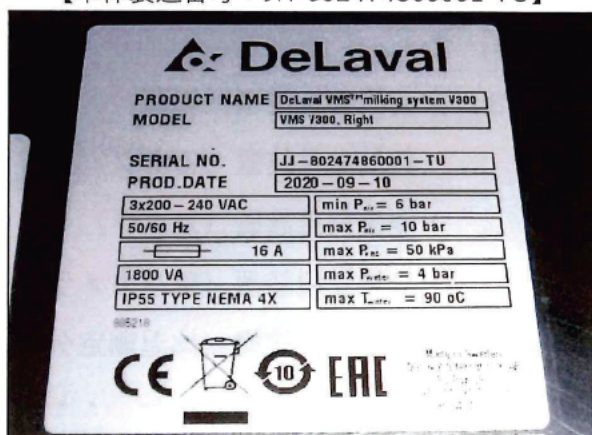
【本体（右側）】



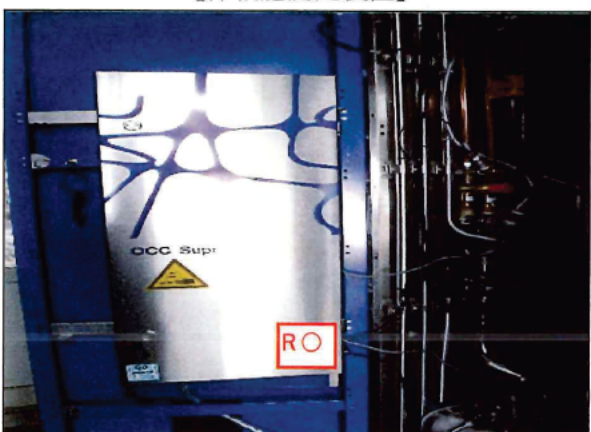
【本体（搾乳ボックス）】



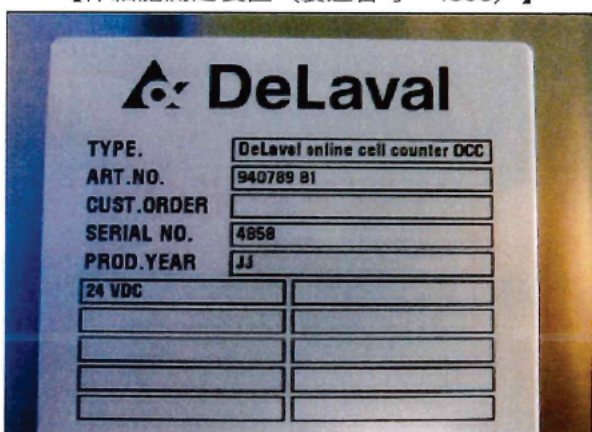
【本体製造番号：JH-802474860001-TU】



【体細胞測定装置】



【体細胞測定装置（製造番号：4858）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ミルクパーラー】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

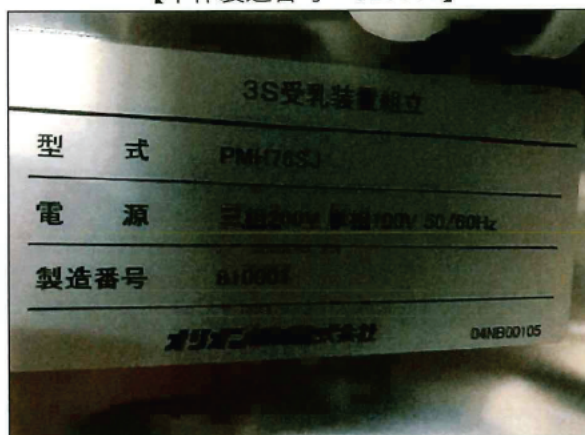
機械装置名： ミルキングパーラー（型式：PMH76SJ 製造番号：810001）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（受乳装置 PMH76SJ）】



【本体製造番号：810001】



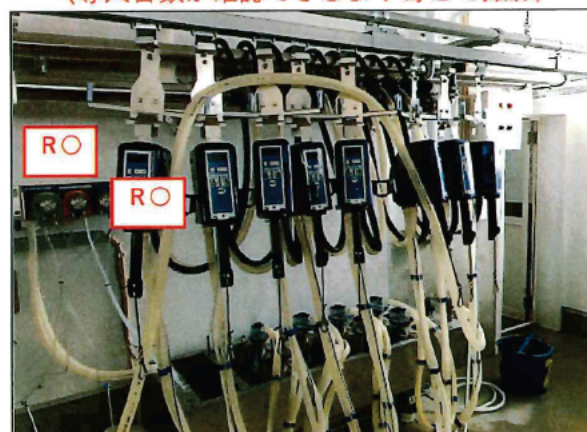
【本体（パーラーストール）】



【ユニットキャリー (UCR75)】
(製造番号：808005)



【自動離脱装置ユニット (OCR5000A) 8台
(導入台数が確認できるよう寄せて撮影)



【自動離脱装置製造番号：0809013】
(導入台数分の写真を貼付)



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【搾乳ユニット（ミルカー自動離脱装置付き）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 搾乳ユニット搬送レール手動（型式：UCA30A 製造番号：K19800009）

ミルカー自動離脱装置（型式：MMD500 G2 製造番号：別紙一覧のとおり）

【搾乳ユニット搬送レール手動（UCA30A）】

【搬送レール（製造番号：K19800009）】



【ミルカー自動離脱装置（MMD500 G）8台】

（導入台数が確認できるよう寄せて撮影）



【自動離脱装置製造番号：12010005015011】

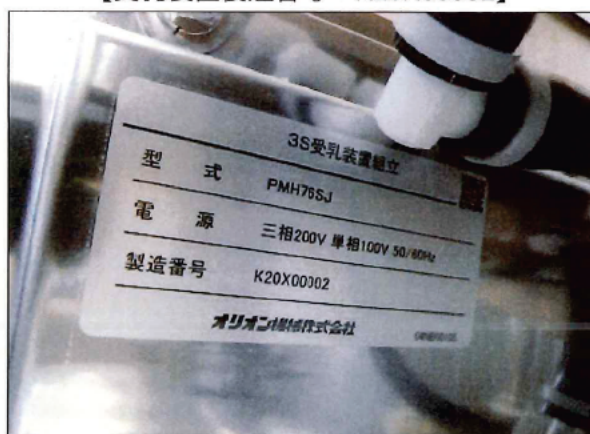
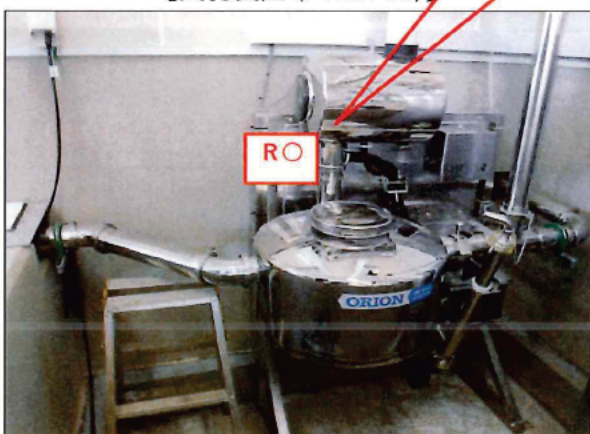
（導入台数分の写真を貼付）



見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【受乳装置（PHM76S）】

【受乳装置製造番号：K20X00002】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【搾乳ユニット（ミルカー自動離脱装置付き）】

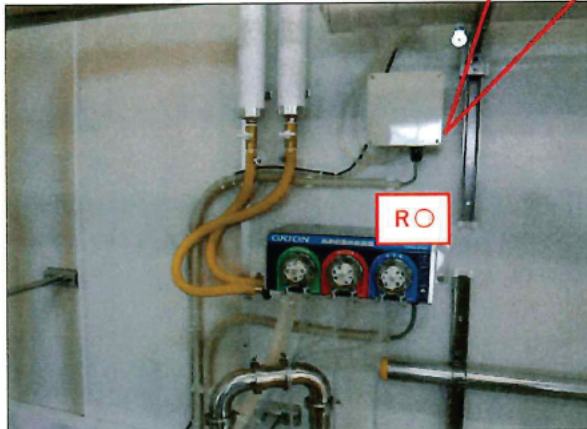
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 搾乳ユニット搬送レール手動（型式：UCA30A 製造番号：K19800009）

ミルカー自動離脱装置（型式：MMD500 G2 製造番号：別紙一覧のとおり）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

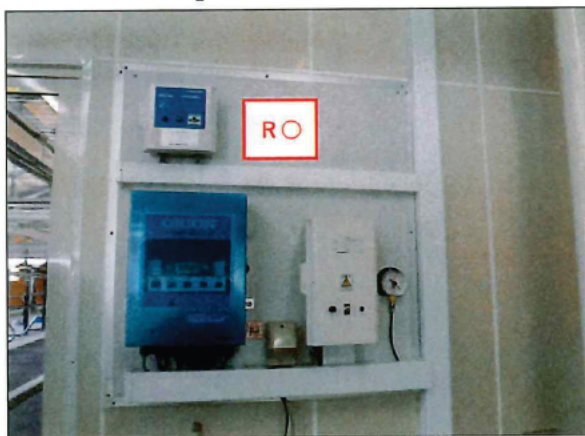
【制御装置 (CAS250)】



【制御装置 (CAS250)】



【洗浄装置制御盤】



【洗浄用電源装置】



【真空発生装置 (OK-18HB)】



【真空発生装置製造番号：K2090DD18】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【自動乳頭洗浄機】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

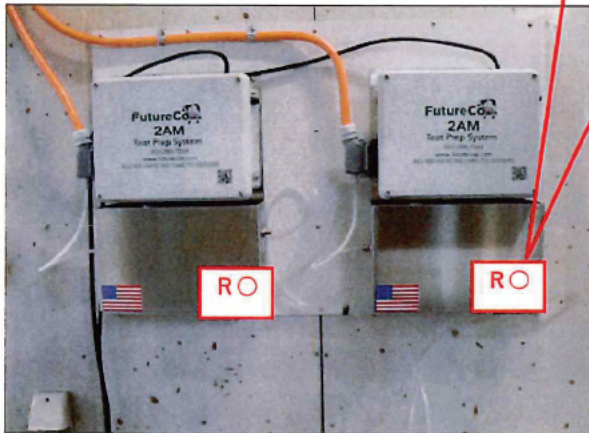
応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 自動乳頭洗浄機（型式：2AM 製造番号：5233、5262）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

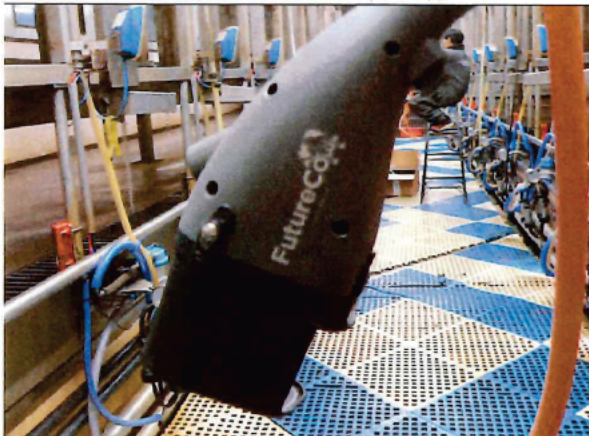
【自動乳頭洗浄機制御装置 (2AM)】



【自動乳頭洗浄機 配置箇所】



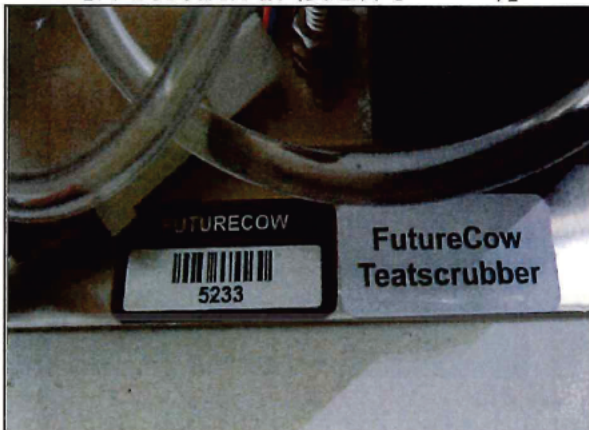
【自動乳頭洗浄機 (本体)】



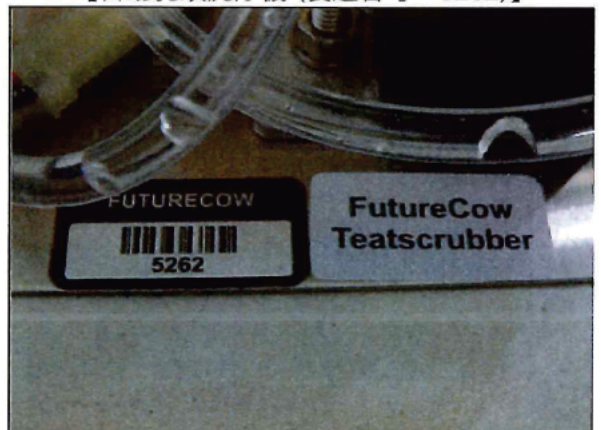
【自動乳頭洗浄機 (本体)】



【自動乳頭洗浄機 (製造番号：5233)】



【自動乳頭洗浄機 (製造番号：5262)】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【自動給餌機（吊下げ式）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

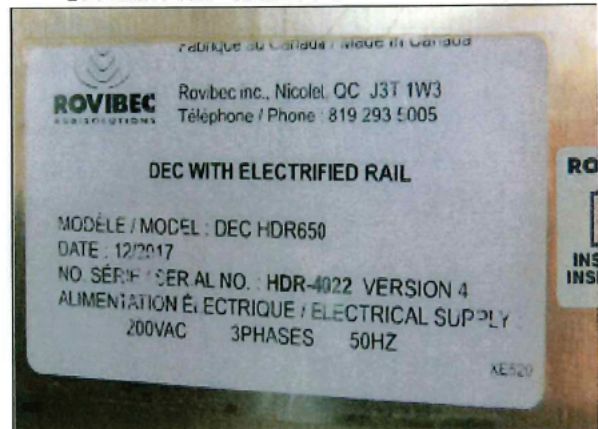
機械装置名： 自動給餌機（型式：DEC-HDR 製造番号：HDR-4022）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【自動給餌機（DEC-HDR）】



【自動給餌機（製造番号：HDR-4022）】



【コントロールボックス】



【自動給餌機・コンベアー設置状況】



【コンベアー】



【コンベアー（製造番号：CD96-1152）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ほ乳ロボット（据置式）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： ほ乳ロボット（型式：カーフイーダー・バリオスマート 製造番号：10019883）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【ほ乳ロボット（カーフイーダー・バリオスマート）】



【ほ乳ロボット（製造番号：10019883）】



【ほ乳ステーション】



【ティート洗浄装置】



【ネックバンド 20本】

(導入本数が確認できる全景写真)



【識別タグ（個体識別番号）】

(他に導入個数が確認できる全景写真)



別途個体識別コード一
覧表を作成・提出して
下さい。

※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ほ乳ロボット（レール式）】

事業名： 令和○年度○○○○事業（○○○○）

応援会議名： ○○○○畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社○○○○農場

機械装置名： ほ乳ロボット（型式：G2パウダー 製造番号：10019134）

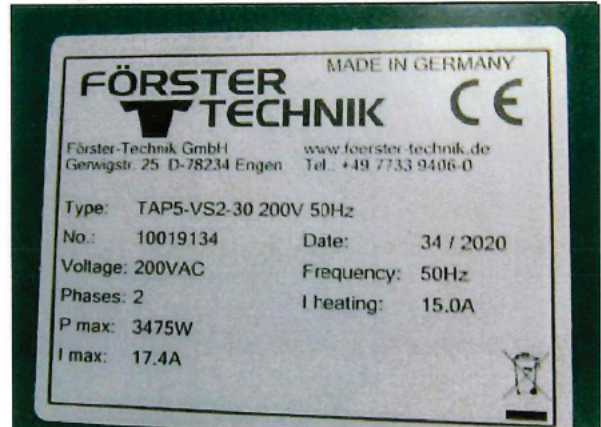
カーフレール（型式：CRS2-1F1-WH 製造番号：10018607）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

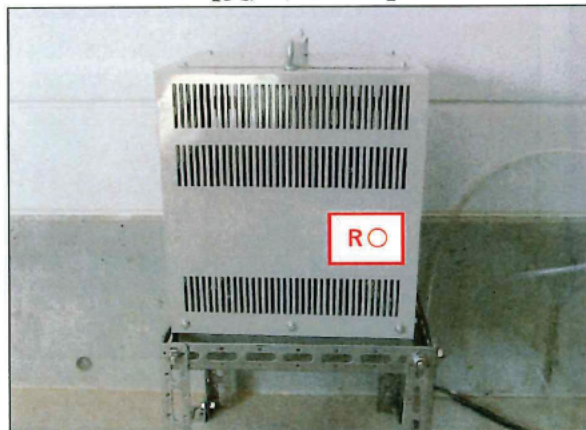
【ほ乳ロボット(G2パウダー)】



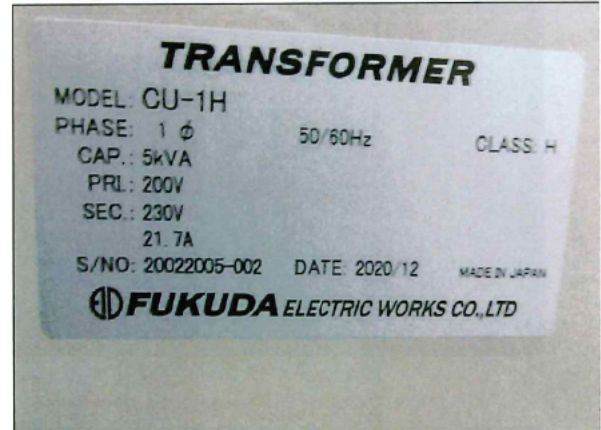
【ほ乳ロボット(製造番号：10019134)】



【変圧トランス】



【変圧トランス（製品仕様ラベル）】



【ホースヒーター（CRS2）】



【ホースヒーター（製品仕様ラベル）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ほ乳ロボット（レール式）】

機械装置名： ほ乳ロボット（型式：G2パウダー 製造番号：10019134）

カーフレール（型式：CRS2-1F1-WH 製造番号：10018607）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【カーフレール(CRS2-1F1)】



【カーフレール(製造番号：10018607)】



【ガイドレール】



【ガイドレールコネクター】



【ネックバンド 20本】

(導入本数が確認できる全景写真)



【識別タグ】

(他に導入個数が確認できる全景写真)



別途個体識別コード一
覧表を作成・提出して
下さい。

※【 】内は何の写真が記載すること。(本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量)

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【餌寄せロボット】

事業名： 令和○年度○○○○事業（○○○○）

応援会議名： ○○○○畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社○○○○農場

機械装置名： 餌寄せロボット（型式：JUNO 製造番号：0003274495）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

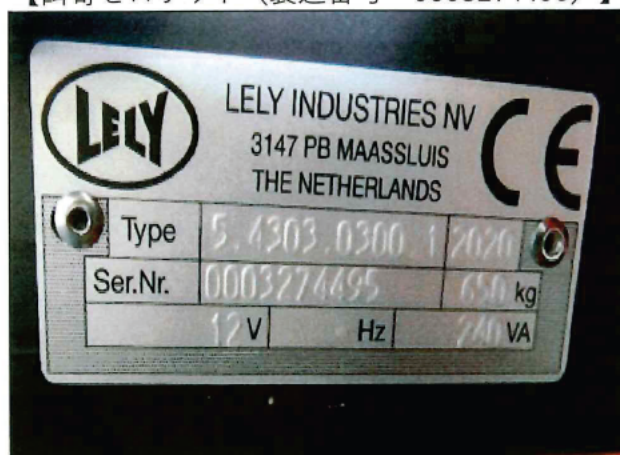
【餌寄せロボット（JUNO）】



【餌寄せロボット（JUNO）】



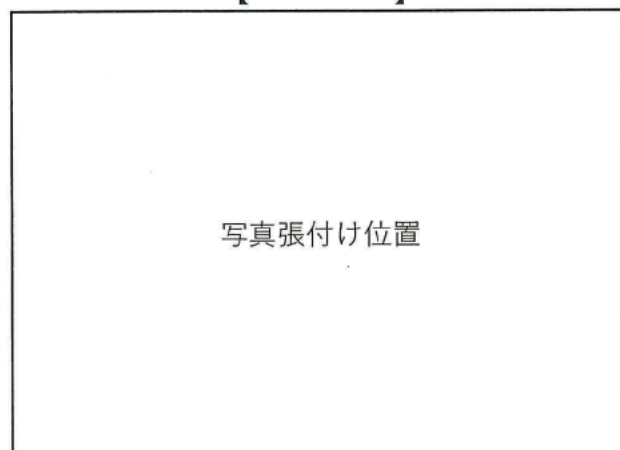
【餌寄せロボット（製造番号：0003274495）】



【餌寄せロボット（事業ラベル）】

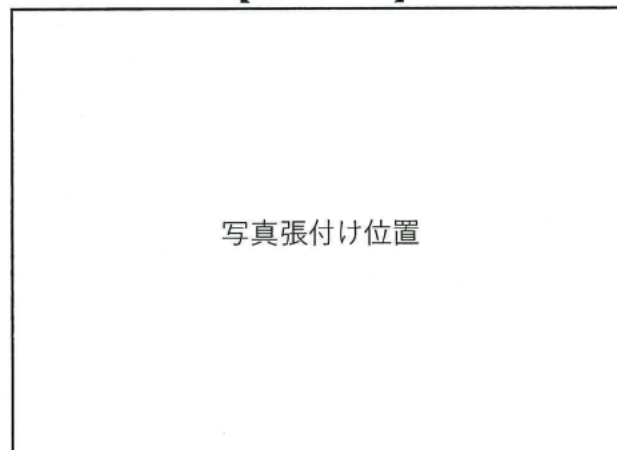


【 】



写真張付け位置

【 】



写真張付け位置

※【 】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【自走式配餌車】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 自走式配餌車（型式：EF2630 製造番号：100234）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（運転席）】



【本体正面】



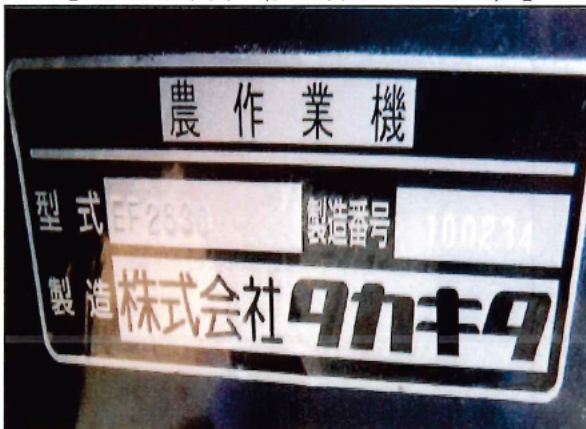
【本体右側】



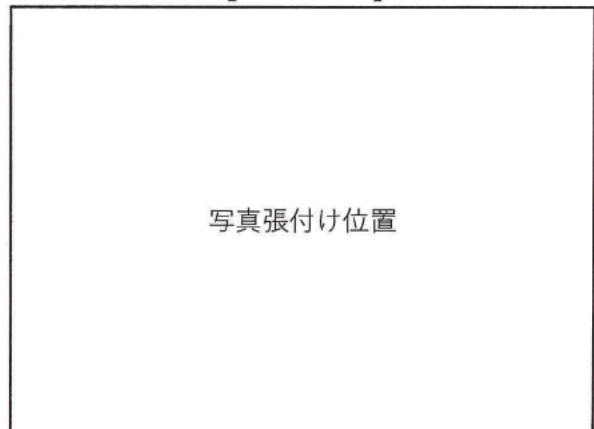
【本体左側】



【自走式配餌車（製造番号：100234）】



【 】



写真張付け位置

※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（首タグ）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

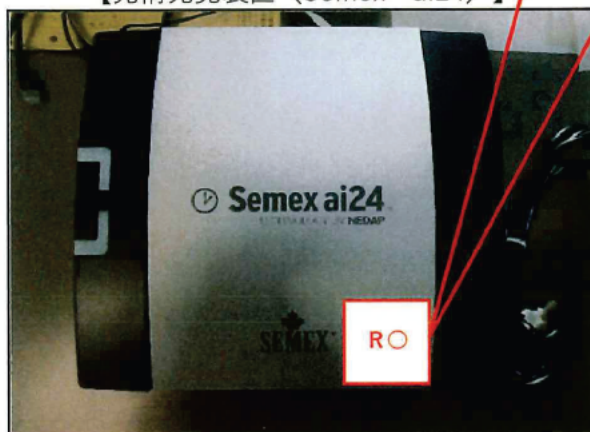
応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

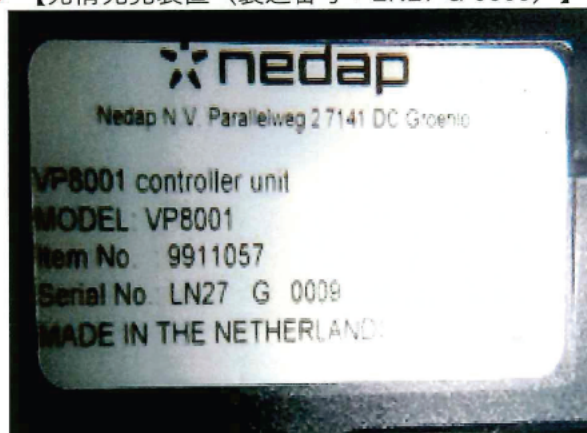
機械装置名： 発情発見装置（型式：Semex ai24 製造番号：LN27 G 0009）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【発情発見装置（Semex ai24）】

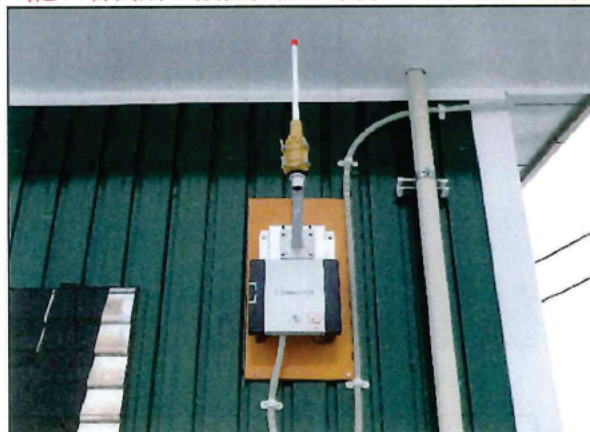


【発情発見装置（製造番号：LN27 G 0009）】



【アンテナ受信機】

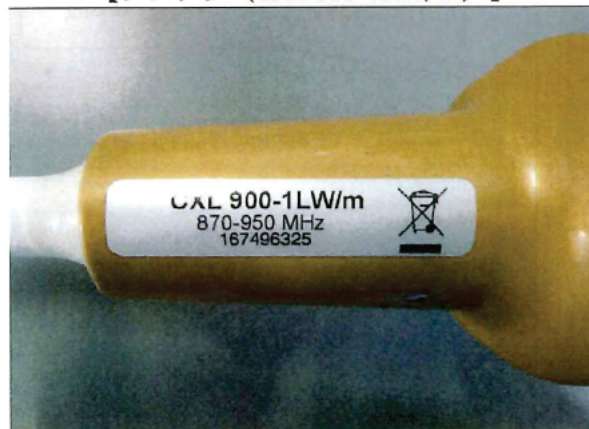
(他に各箇所の設置位置が確認できる全景写真)



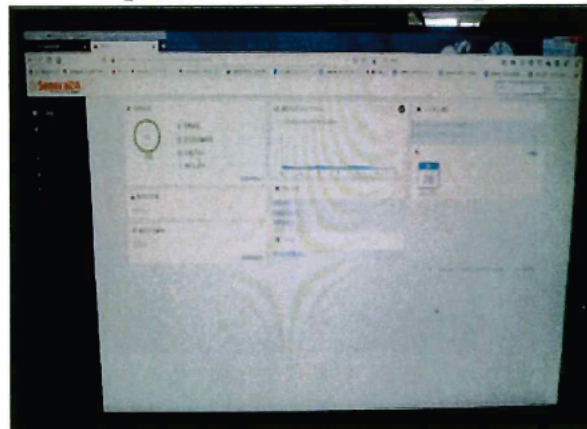
【アンテナ受信機（製造番号：L712C 0001）】



【アンテナ（CXL 900-1LW/m）】



【Semex ai24 システムソフト】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（首タグ）】

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 発情発見装置（型式：Semex ai24 製造番号：LN27 G 0009）

【ネックタグ用ベルト（10本/束×11束）】

（導入本数が確認できる全景写真）



【識別タグ（10個入/箱×11箱）】

（全箱を開封して並べた全景写真を撮影）



【ネックタグ用ベルト（10本/束）】

（1束の本数が明瞭に確認できる写真）



【識別タグ（10個入/箱）】



【個体識別タグ（識別番号別紙のとおり）】



【 】

別途個体識別コード一覧表作成

写真張付け位置

※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（足タグ）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

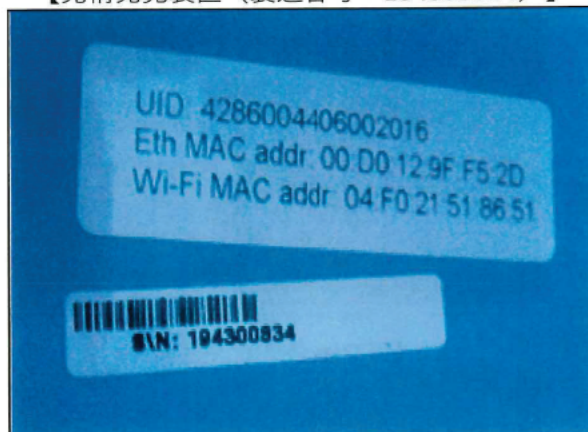
機械装置名： 発情発見装置（型式：アフィアクトⅡ 製造番号：194300834）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

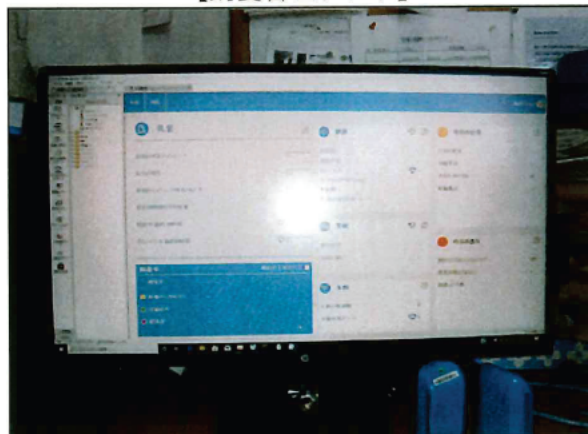
【発情発見装置（アフィアクトⅡ）】



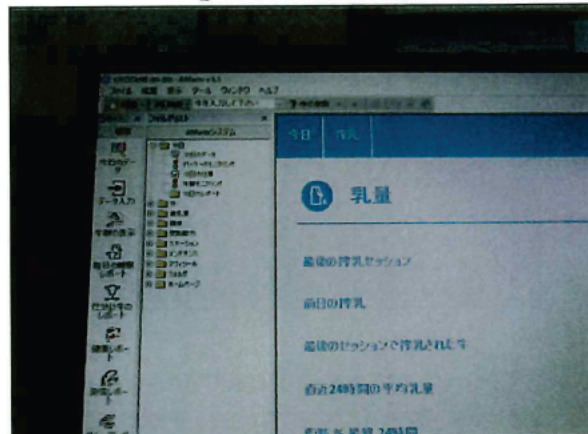
【発情発見装置（製造番号：194300834）】



【飼養管理ソフト】

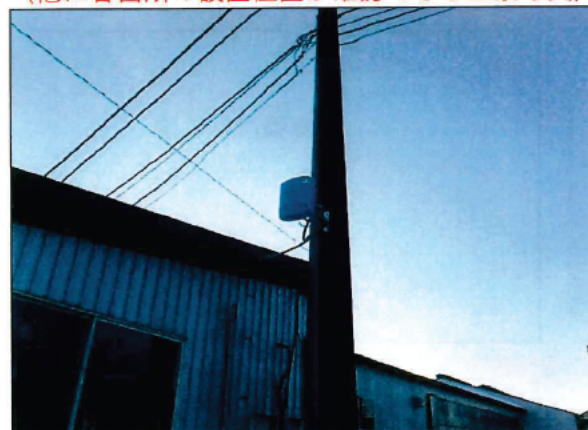


【飼養管理ソフト】



【受信機設置箇所（飼養管理室）】

(他に各箇所の設置位置が確認できる全景写真)



【受信機設置箇所（牛舎）】

(他に各箇所の設置位置が確認できる全景写真)



※【 】内は何の写真が記載すること。(本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量)

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（足タグ）】

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 発情発見装置（型式：Semex ai24 製造番号：LN27 G 0009）

【アフィタグⅡ（足タグ） 1箱／20個入】

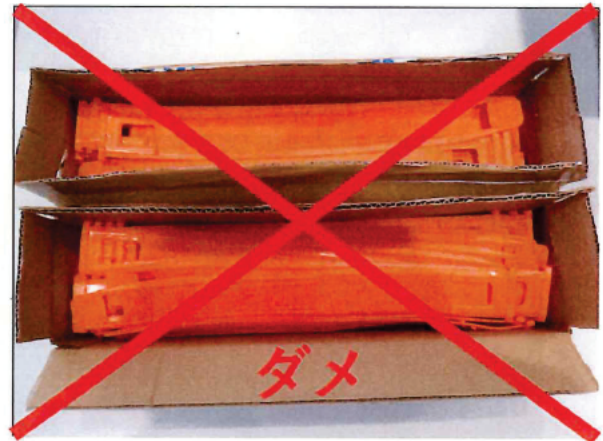


中身を取り出し本数が明確に
に確認できる写真を貼付

【アフィタグⅡ（足タグ）】



【タグ用ストラップ（製造番号：10本入×2箱）】



【足タグ（製造番号：4087900-6333-35202）】



【 】

別途個体識別コード一覧表作成

写真張付け位置

※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【分娩監視装置（監視カメラタイプ）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

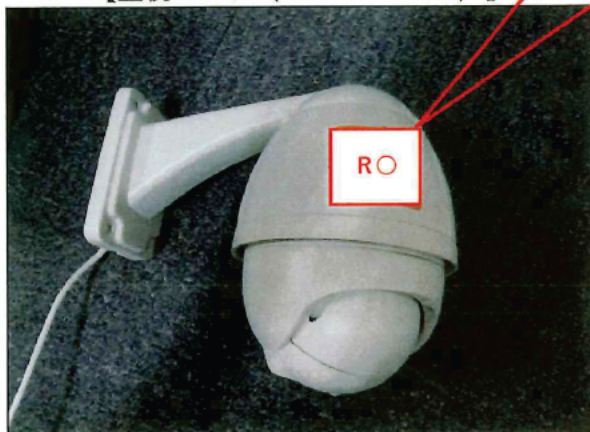
応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 分娩監視装置（型式：AUR-PTZCAM 製造番号：ACEJ-004182-SZCBD）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【監視カメラ（AUR-PTZCAM）】



【カメラ（製造番号：ACEJ-004182-SZCBD）】



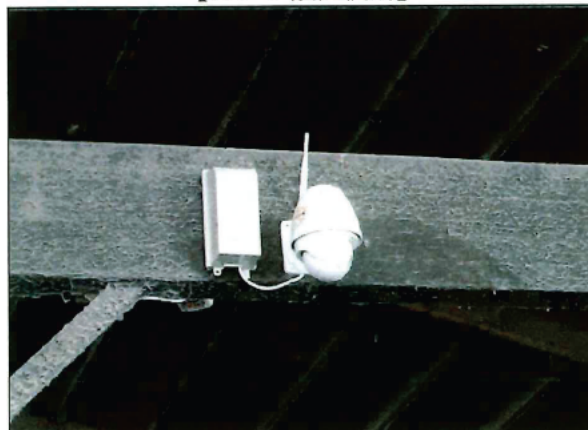
【カメラ】



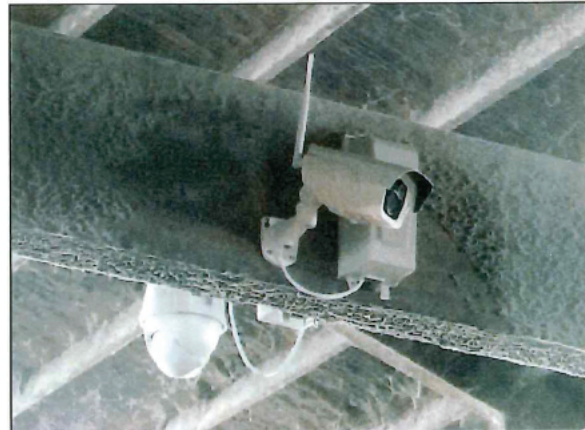
【カメラ（製造番号：ACEJ-004020-LHFSL）】



【カメラ設置箇所】



【カメラ設置箇所】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

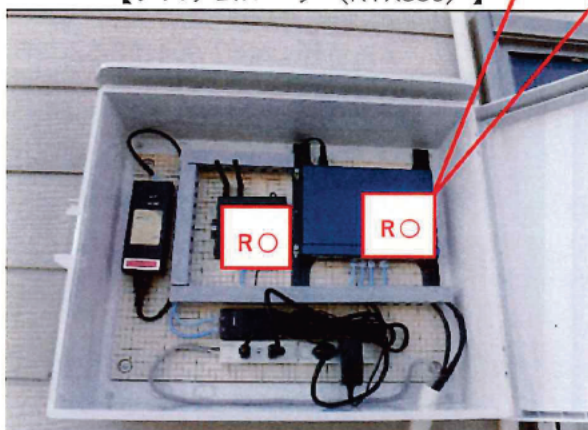
【分娩監視装置（監視カメラタイプ）】

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 分娩監視装置（型式：AUR-PTZCAM 製造番号：ACEJ-004182-SZCBD）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

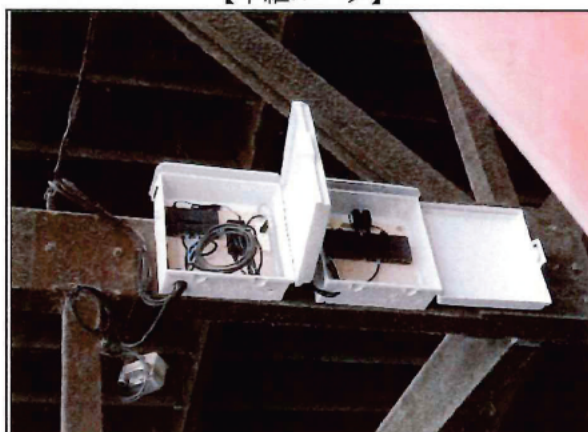
【システムルータ（RTX830）】



【システムルータ（製造番号：M5B050011）】



【中継ルータ】



【中継ルータ（製造番号：BE500004025Q）】



【受信アンテナ】

(他に設置位置が確認できる施設全景写真)



【送信アンテナ】

(他に設置位置が確認できる施設全景写真)



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【分娩監視装置（体温測定タイプ）】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 分娩監視装置（型式：MD1109-MBW 製造番号：mbw03108em）

【分娩監視装置（親機・子機・体温センサー等）】

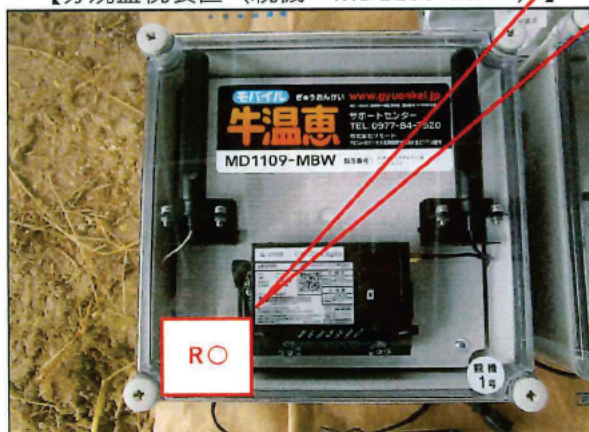


【6本爪ストッパー（4個）】



見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【分娩監視装置（親機：MD1109-MBW）】



【分娩監視装置（親機製造番号：mbw03108em）】



【分娩監視装置（子機：MD1109-MBK）】



【分娩監視装置（親機製造番号：mbk05772em）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【バースクレーパー】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： バースクレーパー（型式：AKD 製造番号：31626）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【ドライブユニット（AKD）】



【ドライブユニット（製造番号：31626）】



【モーター】



【モーター（製造番号：795-077）】



【コーナーローラ・チェーン配置】



【コーナーローラ・チェーン配置】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【バーススクレーパー】

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： バーススクレーパー（型式：AKD 製造番号：31626）

【スクレッパーブレード（W=3500）】



【スクレッパーブレード（W=2400）】



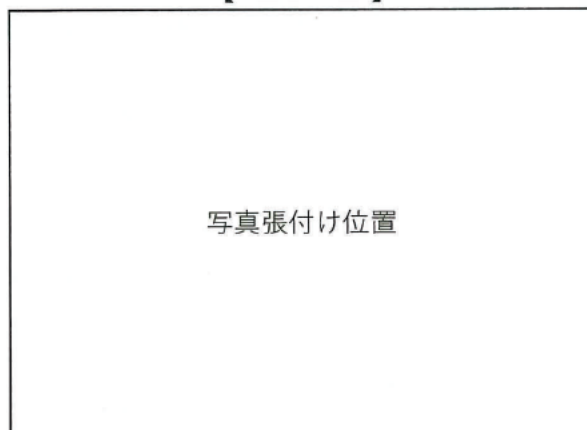
【チェーンスクレッパー操作盤】



【操作盤キャビネット（製造番号：6L0907）】

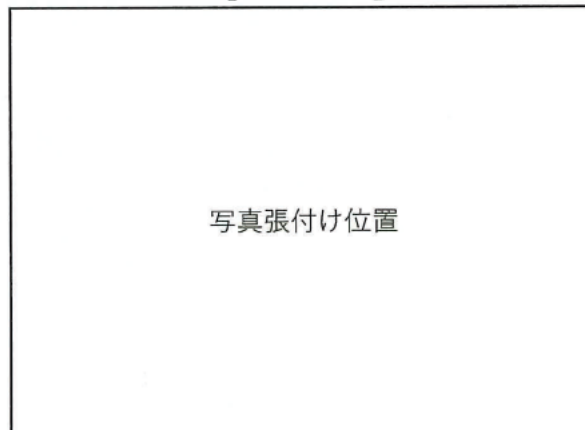


【 】



写真張付け位置

【 】



写真張付け位置

※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【敷料散布機】

事業名： 令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 敷料散布機（型式：BSMA08 製造番号：020Z00003）

見やすい箇所に事業シールを貼
付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

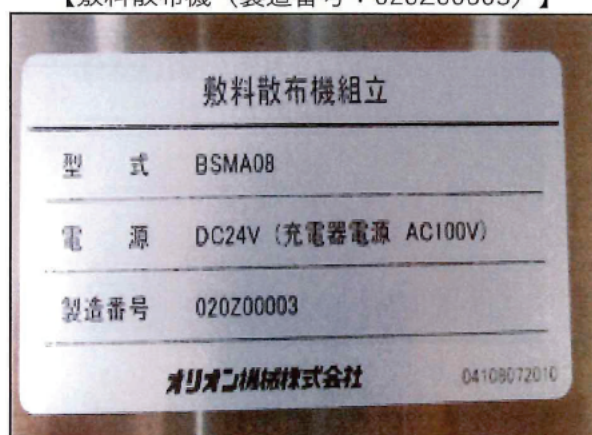
【敷料散布機（BSMA08）】



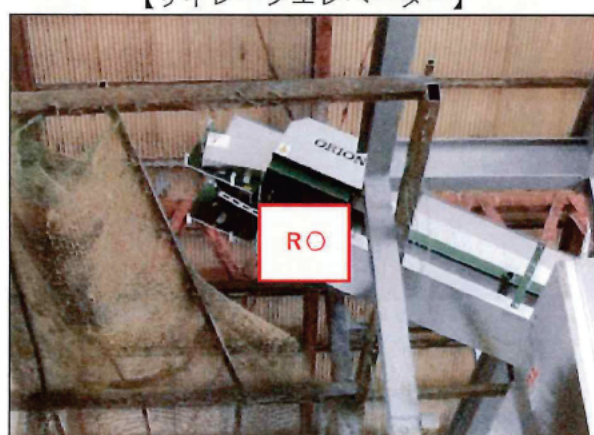
【敷料散布機（BSMA08）】



【敷料散布機（製造番号：020Z00003）】



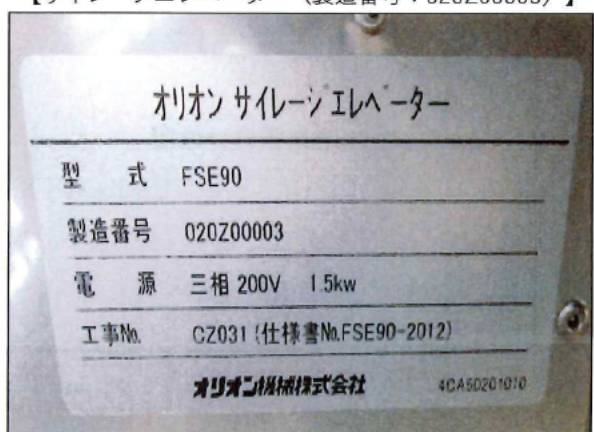
【サイレーエレベーター】



【サイレーエレベーター】



【サイレーエレベーター（製造番号：020Z00003）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【敷料散布機】

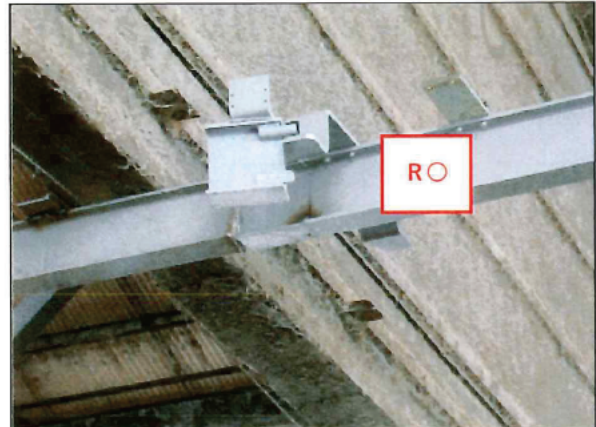
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 敷料散布機（型式：BSMA08 製造番号：020Z00003）

【ドグ（40個）】



【ガイドレール切替装置】



【敷料散布機ガイドレール（H鋼）】



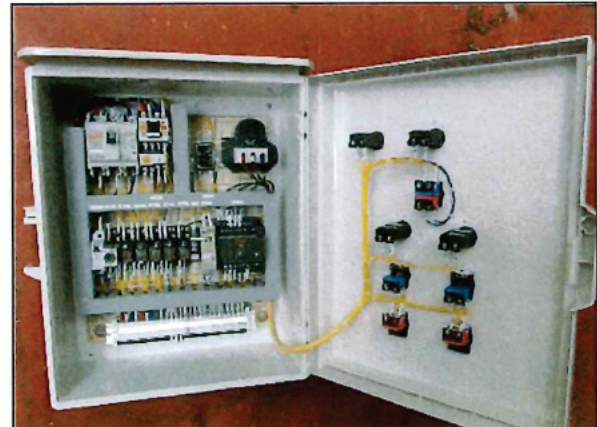
【敷料散布機ガイドレール（H鋼）】



【敷料散布機制御盤】



【敷料散布機制御盤（内部）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

Ⅱ 支払請求書

【畜産 ICT 応援会議が作成・提出

→（都道府県窓口団体経由）中央畜産会】

1 作成・提出に当たっての注意

- ① 畜産 ICT 応援会議は、労働負担軽減経営体が作成した事業完了報告書の提出を受けたら、すみやかにその報告書を取りまとめ、支払請求書を作成し、都道府県窓口団体を経由して中央畜産会に提出して下さい。
- ② 書類の最終提出期限は令和 8 年 3 月 15 日です。これに遅れた場合は、補助金のお支払いができませんのでご注意ください。
- ③ 労働負担軽減経営体ごと、あるいは、承認のあった補助対象機械装置ごとに提出することも可能です。書類の揃ったものから適宜ご提出下さい。

2 請求書作成に当たっての注意

(1) 提出書類

A 支払請求書提出書類 確認表

（本手順書の 47 頁、65 頁参照）

B 支払請求書（別添 1 4）

（本手順書の 48～50 頁、66～70 頁参照）

(2) 添付資料

i 別紙 1（別添 1 4 添付用）「支払請求書の提出内訳」

基本的には、交付決定した金額を確認する資料です。

なお、下段の請求内訳は、交付決定経営ごとに整理している応援会議がありますが、応援会議全体の進捗を管理する書類でありますので、交付決定を受けたすべての経営体を記入して下さい。

また、計画通りに行かないが完了報告書の提出のあった労働負担軽減経営体の場合は、交付決定の表の請求分、機械装置導入事業の請求内容については、実際の金額を記入して下さい。

ii 別紙 2（別添 1 4 添付用）「事前検証状況」

報告内容の「1 日当たり総労働時間」は、注 3 にもありますように、（導入した機械に関係する分野の労働だけではなく、飼料生産等も含めた酪農に関する全ての労働に係る総労働時間）であり、1 日当たりの総労働時間を報告して下さい。

なお、「事前検証状況」の提出がない場合は、労働時間の検証の確認ができないので、支払要件の確認ができませんので、「事前検証状況」は必ず添付し、支払請求書を提出して下さい。（畜産 ICT 応援会議は、事前検証のない支払請求書は提出しないでください。）

iii 労働負担軽減経営体から報告のあった事業完了報告書

労働負担軽減経営体から報告された「事業完了報告書（別添 1 3、添付

資料を含む)」を提出して下さい。

提出書類様式集 目次

シート No.	様式番号等	様式名称	頁
1	労働負担軽減経営体の事業完了報告 書提出書類 確認表	リース方式での機械装置を導入した場合	42
2		購入方式での機械装置を導入した場合	43
3	別添13（第10の3の（1）関係）	事業完了報告書	44
4	添付資料（別添13の2関係）	1 実施状況報告書 （対象機械装置の導入報告）	45
5		2 本事業で導入した機械装置の詳細	46
6	畜産ICT応援会議の支払請求書提出書 類 確認表	（共通）	47
7	別添14（第10の3の（2）関係）	支払請求書	48
8	別紙1（別添14添付用）	支払請求書の提出内訳	49
9	別紙2（別添14添付用）	事前検証状況	50
10	別添10（第9の1関係）	事業成果報告書	51
11	別添10－別紙1（第9の1関係）	成果報告	52
12	別添10－別紙2	導入機械装置管理状況報告（購入方式）	53
13	別記様式	財産管理台帳	54
14	機械装置の写真用台紙		55

リース方式での機械装置を導入した場合				
畜産ICT応援会議に提出のあった年月日		令和 年 月 日		
【畜産ICT事業】 労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表				
提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。				
No	提出書類			確認欄
1	事業完了報告書		(別添13(第10の3の(1)関係))	☐
	リース方式により機械装置を導入した場合			
2	添付資料	① 貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)		☐
3		② 貸付機械装置に係る借受証(写し)		☐
4		③ 貸付対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)		☐
5		④ 実施状況報告書(対象機械装置の導入報告)		☐
6		⑤ 納入当日の撮影した機械装置の全景写真		☐
7		⑥ 製造番号等の確認が可能な写真		☐
8		⑦ 環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート(畜産経営体向け)		☐
9	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか			☐
10	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った			☐
	機 械 装 置 名		契約年月日	
必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、完了報告書を提出します。				
労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)				

購入方式での機械装置を導入した場合				
畜産ICT応援会議に提出のあった月日		令和 年 月 日		
【畜産ICT事業】 労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表				
提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。				
No	提出書類			確認欄
1	事業完了報告書		(別添13(第10の3の(1)関係))	☐
	(1)購入方式により機械装置を導入した場合			
2	添付資料	① 対象機械装置に係る購入契約書(写し)		☐
3		② 対象機械装置に係る納入書(写し)、請求書(写し)		☐
4		③ 対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)		☐
5		④ 実施状況報告書(対象機械装置の導入報告)		☐
6		⑤ 納入当日の撮影した機械装置の全景写真		☐
7		⑥ 製造番号等の確認が可能な写真		☐
8		⑦ 環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート(畜産経営体向け)		☐
9	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか			☐
10	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った			☐
	機械装置名		契約年月日	
必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、完了報告書を提出します。 労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)				

別添13（第10の3の（1）関係）

番 号
年 月 日

畜産ICT応援会議代表 殿

所在地
法人名称又は氏名
(法人の場合 代表者名)

令和○年度ICT化等機械装置等導入事業 事業完了報告書

令和7年度において、令和 年 月 日付け7年度発中畜第 号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年1月20日付け27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙8の第10の3の（1）の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

1 事業の内容

対象機械装置名	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	
計					

2 添付資料

(1) リース方式により機械装置を導入した場合

- ① 貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）
- ② 貸付対象機械装置に係る借受書（写し）
- ③ 貸付対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、形式及び台数）
- ④ 実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）
- ⑤ 納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑥ 製造番号等の確認が可能な写真
- ⑦ 環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート（畜産経営体向け）

(2) 購入方式により機械装置を導入した場合

- ① 対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
- ② 対象機械装置に係る購入に係る納入書（写し）、請求書（写し）
- ③ 対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式及び台数）
- ④ 実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）
- ⑤ 納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑥ 製造番号等の確認が可能な写真
- ⑦ 環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート（畜産経営体向け）

3 その他

(1) 請求額 金 円

(2) 振込先金融機関名
支店名
預金の種別
口座番号
預金の名義

添付資料様式（別添13の2 関係）

対象機械装置の導入報告書

1 実施状況報告

畜産ICT応援会議名：				
労働負担軽減経営体名	組 織 名：			
	代表者名：			
リース事業者 ※1	会 社 名：			
対象機械装置の名称				
製造メーカー名				
型 式				
機械装置製造番号				
販売事業者等の名称 ※2				
対象機械装置の納入年月				
貸付番号 ※3				
導入場所				
所 見	申請内容と相違ないか			
	カタログどおりか			
	新品であるか			
	試運転の結果どうか			
	業者から取扱説明を受けたか			
備考				

※1 購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。

※2 リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、
購入方式の場合は記載しない。

※3 購入方式の場合は、記載しない。

2 本事業で導入した機械装置の詳細

N ※1	本体・ 付属機器 別区分 ※3	新品・ 中古の 区分 ※4	機械装置 の種類 ※2※5	法定 耐用 年数 ※6	型式 ※7	製造番号 ※8	販 売 業者名	数 量	機械価格 (税抜)	機械価格 (税込)	補助金額
	小計										
	小計										

※1 総括表の番号とあわせてください。

2 参加承認通知のあった機械ごとに記入して下さい。

「搾乳ロボット」、「ミルキングパーラー」、「搾乳ユニット搬送レール自動」、「搾乳ユニット搬送レール手動」、「ミルカー自動離脱装置」、「自動乳頭洗浄機」、「自動給餌機(濃厚飼料)」、「自動給餌機(濃厚・粗飼料)」、「ほ乳ロボット」、「行動餌寄せロボット」、「自走式配餌車」、「移動式ほ乳機」、「稲わら細断機」、「発情発見装置」、「分娩監視装置」、「行動監視装置(繁殖管理)」、「行動監視装置(肥育管理)」、「行動監視装置(放牧管理)」、「バーンスクレーパー」、「敷料散布機」のいずれかを記載。

3 「本体」または「付属機器」かを記載

4 新品は「1」を、中古は「2」を記載する。なお、中古の場合は残存期間が2年以上の場合が対象となる。

5 本体は2と同じ種類を記載。付属機器は、「飼養管理システム」、「真空発生装置」、「受乳装置」、「サイレージストッカー」、「サイレージエベーター」、「サイレージコンベア」、「定置式ミキサー」、「吊下レール」等を記載。

6 新品の場合は残存年数が法定耐用年数となる。中古の場合は法定耐用年数から経過年数を差し引いた期間を記載する。

7 型式等を記入。

8 本体、付属機器に限らず、製造番号のあるものは可能な限り記載して下さい。

なお、発情発見装置や分娩監視装置の子機など数量が多いものは、別紙で製造番号リストを添付するようにして下さい。

【畜産ICT事業】

提出年月日(道府県協会提期限3月15日)

年 月 日

畜産ICT事業支払請求書 提出書類 確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。

No	提出書類	チェック欄
1	支払請求書 (別添14)	☐
2	支払請求書の提出内訳 別紙1(別添14添付用)	☐
3	事前検証状況 別紙2(別添14添付用)	☐
4	事業完了報告書(写し) (別添13)※添付資料を含む。 完了経営体数 : 戸数【支払請求書の(注)の3の(3)】	☐
必要な資料がすべて準備でき、確認表のチェックが終了しましたので、実施計画書の承認申請書を提出します。 (畜産ICT応援会議名を記入してください。)		

別添14（第10の3の（2）関係）

番 号
年 月 日

公益社団法人中央畜産会会長 殿

（畜産ICT応援会議）

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

令和〇年度ICT化等機械装置等導入事業 支払請求書

令和7年度において、令和〇年〇〇月〇〇日付け7年度発中畜第〇〇〇〇号（及び令和〇年〇〇月〇〇日付け7年度発中畜第〇〇〇〇号）をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年1月20日付27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙8の第10の3の（2）の規定に基づき、下記のとおり請求する。

記

1 請求額 金 円

区 分	総事業費	国庫補助金	その他	備考
機械装置導入事業				
計				

2 振込先金融機関名
支店名
預金の種別
口座番号
預金の名義

- （注）1 計画承認の事業内容から変更がある場合には、計画承認を受けた計画書の変更箇所を加筆修正（変更前を上段括弧で二段書）した当該資料ページを添付して提出すること。
- 2 前記により、計画承認の事業内容から変更して交付申請書を提出する場合は、本文中の「令和 年 月 日付け 第 号で計画承認があった事業計画内容のとおり事業を実施したいので」を「令和 年 月 日付け 第 号で計画承認通知があった事業計画の一部を関係資料のとおり変更し事業を実施したいので」とすること。
- 3 申請の際には以下の書類を添付すること。なお、事業計画書に添付したものから変更がない場合は省略することができる。
- （1）外部へ委託する場合は、委託契約書
 - （2）その他交付決定者が必要とする書類
 - （3）労働負担軽減経営体から申請のあった事業完了報告書一式（写し）
 - （4）労働負担軽減経営体から申請のあった支払請求書（写し）
 - （5）その他中央畜産会が求める書類

別添10（第9の1関係）

番 号
年 月 日

公益社団法人中央畜産会会長 殿

（畜産ICT応援会議）

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

令和○年度ICT化等機械装置等導入事業
事業成果報告書

令和 年 月 日付け 年度発中畜第 号で交付決定通知のあったICT化等機械装置等導入事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年1月20日付27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙8の第9の1の規定に基づき別紙（対象となる別紙の番号を記入）の「令和 年度ICT化等機械装置等導入事業成果報告」を別添のとおり報告します。

【添付書類】

- （I）対象機械装置の導入がリース方式の場合
 - ・別添10 - 別紙1
- （I）対象機械装置の導入が購入方式の場合
 - ・別添10 - 別紙1
 - ・別添10 - 別紙2

(元号) 年度ICT化等機械裝置等導入事業 導入機械裝置管理狀況報告 (購入方式)

[illegible]

-53-

財産管理台帳

団体名	事業実施年度	令和	年度	事業名	ICT化等機械装置等導入事業					処分制限期間			処分の状況		摘要
事業種目	事業の内容			工期		経費の配分				耐用 年数	処分制限 年	月	日	処分の 内容	
	対象者名	工種構造 設置区分	施工箇所 又は設置 場所	事業量	着工年 月	竣工年 月	総事業費	国庫補助 金	都道府 県費	市町村 費	その他				
	計														
	計														
	合計														

- (注) 1 処分制限年月日欄には、処分制限の終期を記入する。
 2 処分の内容欄には、譲渡、交換、貸付け、担保提供等を記入する。
 3 摘要欄には、譲渡先、交換先、貸付け先及び抵当権等の設定権者の名称又は補助金返還額を記入。
 4 この書式により難しい場合には、処分制限期間欄及び処分の状況欄を含む他の書式をもって残産管理台帳に代えることができる。

(参考4)

事業名：令和○年度○○○○事業(○○○○)

応援会議名：

経営体名：

機械装置名：○○○○装置(型式：○○○○ 製造番号：○○○○)

【 】

写真張付け位置

【 】

写真張付け位置

【 】

写真張付け位置

【 】

写真張付け位置

【 】

写真張付け位置

【 】

写真張付け位置

※【 】内は何の写真か記載すること。(本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量)

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

コメント・記載例について 目次

シート No.	様式番号等	様式名称	区分	頁
1	労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表	リース方式での機械装置を導入した場合	コメント	58
2			記載例	59
3	別添13（第10の3の（1）関係）	事業完了報告書	記載例	60
4	添付資料（別添13の2関係）	1 実施状況報告書 （対象機械装置の導入報告）	コメント	61
5			記載例	62
6		2 本事業で導入した機械装置の詳細	記載例	63
7	環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート（畜産経営体向け）		記載例	64
8	畜産ICT応援会議の支払請求書提出書類 確認表	（共通）	記載例	65
9	別添14（第10の3の（2）関係）	支払請求書	記載例	66
10	別紙1（別添14添付用）	支払請求書の提出内訳	コメント	67
11			記載例	68
12	別紙2（別添14添付用）	事前検証状況	コメント	69
13			記載例	70
14	別添10（第9の1関係）	事業成果報告書	記載例	71
15	別添10ー別紙1（第9の1関係）	成果報告	コメント	72
16			記載例	73
17	別添10ー別紙2	導入機械装置管理状況報告（購入方式）	コメント	74

リース方式での機械装置を導入した場合

畜産ICT

令和 年 月 日

【畜産ICT事業
労働負担軽減】

応援会議に提出されたら、必ず
記入して下さい

提出書類 確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、
提出して下さい。

No	提出書類		確認欄
1	事業完了報告書		☐
2	リース方式での機械装置導入 添付資料	①	☐
3		②	☐
4		③	☐
5		④	☐
6		⑤	☐
7		⑥	☐
8		⑦	☐
9	【確認事項】総括		☐
10	AI・データに関する機械装置名	契約年月日	☐

・ No1～No8の提出書類の準備ができた場合は、確認欄の☑(チェック)を行う。

・ No9は、事前検証を行い、応援会議に報告している場合は、確認欄に☑(チェック)を行う。

・ No10は、参加申請書提出時の確認表のNo6で「対象機械である」にチェックした経営体は必ず「対象機械名」「契約年月日」を記入し、確認欄に☑(チェック)を行う。

・ これで、すべての確認欄に☑(チェック)ができましたら、完了報告書を提出して下さい。

必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、
完了報告書を提出します。

労働負担軽減

経営体の申請者が自ら
必ず署名して下さい

ます。)

リース方式での機械装置を導入した場合

畜産ICT応援会議に提出のあ

記入例

令和 〇 年 12 月 21 日

【畜産ICT事業】

労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。

No	提出書類			確認欄
1	事業完了報告書		(別添13(第10の3の(1)関係))	☒
	添付資料	リース方式により機械装置を導入した場合		
2		① 貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)		☒
3		② 貸付機械装置に係る借受証(写し)		☒
4		③ 貸付対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)		☒
5		④ 実施状況報告書(対象機械装置の導入報告)		☒
6		⑤ 納入当日の撮影した機械装置の全景写真		☒
7		⑥ 製造番号等の確認が可能な写真		☒
8		⑦ 環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート(畜産経営体向け)		☒
9	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか			☒
10	機 械 装 置 名	〇〇〇〇〇	契約年月日 202〇年12月15日	☒

必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、完了報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)

中畜 太郎

【提出にあたっての注意】

No10は、この内容のとおり対象機械名・契約年月日を記入せず、確認が行われていない場合は、農林水産省と相談し、対応が決定されるまで、完了確認ができませんので、よろしくお願いします。

別添13（第10の3の（1）関係）

所属する畜産ICT応援会議の名称、代表者の役職・氏名を記載

番 号
令和〇年12月31日

神田ICT応援会議
会長 明神 太郎 殿

東都市外神田2-2-2
天神 三郎

令和〇年度ICT化等機械装置等導入事業 事業完了報告書

中央畜産会から畜産ICT応援会議に対する補助金の交付決定通知の年月日及び文書番号を記入して下さい。

令和〇年度において、令和〇年10月10日付け〇年度発中畜第1002号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年1月20日付け27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙8の第10の3の（1）の規定に基づき、下記のとおり報告する

事業費:税込の事業費を記入
補助金:参加承認通知のあった補助金額
その他:事業費－補助金

1 事業の内容

対象機械装置名	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	
ほ乳ロボット	1	5,500,000	2,500,000	3,000,000	
計		5,500,000	2,500,000	3,000,000	

2 添付資料

(1) リース方式により機械

- ① 貸付対象機械装置に
- ② 貸付対象機械装置に
- ③ 貸付対象機械装置の
- ④ 実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）
- ⑤ 納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑥ 製造番号等の確認が可能な写真
- ⑦ 環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェック

計画承認された機械装置の内容ごとに記入して下さい。
計欄も記入して下さい。

(2) 購入方式により機械装置を導入した場合

- ① 対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写）
- ② 対象機械装置に係る購入に係る納入書（写し）
- ③ 対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ご
- ④ 実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）
- ⑤ 納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑥ 製造番号等の確認が可能な写真
- ⑦ 環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェック

○ 労働負担軽減経営体が畜産ICT
応援会議から交付金を受領する
口座を記入。

○ リース方式の場合、直接リース
事業者支払いを希望する場
合は、リース事業者の指定する口座
を記載。

○ 経営体に直接支払う場合は、
「要望調査書」又は「参加申請書」
に記載した経営主名（法人経営の
場合は、法人名又は代表者名）と
同じ名義の口座を記載すること。

3 その他

(1) 請求額 金 2,500,000

(2) 振込先金融機関名 秋野原農業協同組合
支店名 神田坂支店
預金の種別 普通
口座番号 0123789
預金名義 カンダチュウチクリス

対象機械装置の導入報告書

1 実施状況報告

畜産ICT応援会議名：		※所属する畜産ICT応援会議の名称を記入して下さい。
労働負担軽減経営体名	組 織 名：	※法人経営の場合、法人名（参加申請者名）を記入して下さい。
	代 表 者 名：	※個人経営の場合：経営主（参加申請者名）を、 法人経営の場合：代表者名を 記入して下さい。
リース事業者 ※1	会 社 名：	※リース事業者名を記入して下さい。 また購入方式の場合は記入しないで下さい。
対象機械装置の名称		※参加申請書（別添9－別紙1又は別添8－別紙1）と同じ内容で、参加承認通知のあった機械装置の種類ごとに入力に記入して下さい。 ・搾乳ロボット ・ミルクングバーラー ・搾乳ユニット搬送レール自動 ・搾乳ユニット搬送レール手動 ・ミルクカー自動離脱装置 ・自動乳頭洗浄機 ・「自動給餌機（濃厚飼料）」 ・「自動給餌機（濃厚・粗飼料）」 ・「ほ乳ロボット」 ・「餌寄せロボット」 ・「自走式配餌車」 ・「移動式ほ乳機」 ・「稲わら細断機」 ・「発情発見装置」 ・「分娩監視装置」 ・「行動監視装置（繁殖管理）」 ・「行動監視装置（肥育管理）」 ・「行動監視装置（放牧管理）」 ・バーンスクレーパー ・敷料散布機
製造メーカー名		※参加申請書（別添9－別紙1又は別添8－別紙1）と同じ内容
型 式		※参加申請書（別添9－別紙1又は別添8－別紙1）と同じ内容
機械装置製造番号		※機械装置本体の製造番号（又はシリアルナンバー）は複数の場合であっても必ず記入して下さい。 もし、販売事業者を確認しても当該番号がない場合は、「なし（販売事業者確認済み）」と必ず記入して下さい。
販売事業者等の名称 ※2		※参加申請書（別添9－別紙1又は別添8－別紙1）と同じ内容
対象機械装置の納入年月日		※購入方式の場合は、納入年月日を記入して下さい。 リース方式の場合は、借受書の検査完了年月日又は検収日を記入して下さい。
貸付番号 ※3		※機械の契約番号、リース番号又は貸付番号を記入して下さい。
導入場所		※参加申請書（別添9－別紙1又は別添8－別紙1）と同じ内容
所 見	申請内容と相違ないか	「事業完了報告書」、「支払請求書」の提出に当たっての留意点のⅠの2の(2)の(D)の1の⑩に記入に当たっての留意事項を整理してあります。(6頁参照)
	カタログどおりか	
	新品であるか	
	試運転の結果どうか	
	業者から取扱説明を受けたか	
備 考		

※1 購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。

※2 リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、

購入方式の場合は記載しない。

※3 購入方式の場合は、記載しない。

添付資料様式（別添13の2 関係）

対象機械装置の導入報告書

1 実施状況報告

畜産ICT応援会議名：神田ICT応援会議				
労働負担軽減経営体名	組 織 名：			
	代表者名：	天神 三郎		
リース事業者 ※1	会 社 名：	○△リース株式会社		
対象機械装置の名称	搾乳ユニット搬送 レール自動搬送	自動給餌機 (濃厚・粗飼料)		
製造メーカー名	オリオン機械(株)	オリオン機械(株)		
型 式	UCA30A	FMA16		
機械装置製造番号	99589	556645545		
販売事業者等の名称 ※2	中部オリオン(株)	(株)チュウチク		
対象機械装置の納入年月	令和○年12月5日	令和○年12月5日		
貸付番号 ※3	○△H55-55	○△H55-56		
導入場所	○県●●町●松55	○県●●町●松55		
所見	申請内容と相違ないか	相異なし	相異なし	
	カタログどおりか	カタログどおり	カタログどおり	
	新品であるか	新品	新品	
	試運転の結果どうか	良好	良好	
	業者から取扱説明を受けたか	受けた	受けた	
備考				

※1 購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。

※2 リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、
購入方式の場合は記載しない。

※3 購入方式の場合は、記載しない。

添付資料様式（別添13の2関係）

参加申請書別紙1の「補助対象機械装置の詳細（参加申請）」を参考に、作成して下さい。

2 本事業で導入した機械装置の詳細

No ※1	本体・ 付属機器 別区分 ※3	新品・ 中古の 区分 ※4	機械装置 の種類 ※2※5	法定 耐用 年数 ※6	型式 ※7	製造番号 ※8	販 売 業 者 名	数量	機械価格 (税抜)	機械価格 (税込)	補助金額
1	本体	1	搾乳ユニット搬送レー ル自動搬送	7	UCA30A	99589	中部オリオン(株)	1			
						56-5481, 56-5482, 56-5483, 56-5484, 56-5485, 56-5486, 56-5487, 56-5488,	中部オリオン(株)	8			
	付属機器	1	乳量計付自動離脱装置	7	MMD500						
	付属機器	1	パイプラインミルカー	7	PMH64SJ	P656345	中部オリオン(株)	1	14,000,000	15,400,000	7,000,000
	小計										
2	本体	1	自動給餌機(濃厚・粗飼料)	7	FMA16	556645545	(株)チュウチク	1			
	付属機器	1	サイレーンエレベーター	7	FC95	55-55-HH	(株)チュウチク	1			
	付属機器	1	定置式ミキサー	7	5150ST	545454	(株)チュウチク	1			
	小計								10,000,000	11,000,000	5,000,000

・No.は、1の対象機械装置の
名称ごとに記入して下さい。

・複数台導入の場合は、「1」でつないで併記して記入して下さい。
・また、数量が多い場合は、「別紙」と記入し、別紙で製造番号リスト
を整理した資料を添付して下さい。

要望調査時に提出いただいたシートにチェックを追記して作成してください

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート (畜産経営体向け)

ICT・楽酪応援会議用

事業名: ICT化等機械装置等導入事業

組織名・代表者氏名: 神田ICT応援会議 明神 太郎

住所: 東都市外神田2-2-2

連絡先: 03-1234-5678

Ver2.1

申請時 (します)	報告時 (しました)	内容	申請時 (します)	報告時 (しました)	内容
☒	☒	(1) 適正な施肥 ※飼料生産を行う場合 (該当しない ☐) 肥料の適正な保管	☒	☒	(5) 廃棄物の発生抑制、 適正な循環的な利用及び適正な処分 プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理
☒	☒	(2) 適正な防除 ※飼料生産を行う場合 (該当しない ☐) 病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を 検討	☒	☒	(6) 生物多様性への悪影響の防止 ※特定排水の排出を 遵守 ☐
☒	☒	(3) エネルギーの節減 畜舎内の照明、温度管理等施設・機械等の使用 や導入に際して、不必要・非効率なエネルギー 消費をしないように努める	☒	☒	(7) みどり 関係法令の遵守
☒	☒	(4) 悪臭及び害虫の発生防止 悪臭・害虫の発生防止・低減に努める	☒	☒	GAP・HACCPについて可能な取組から実践
☒	☒	※飼養頭数が一定規模以上の場合 (該当しない ☐) 家畜排せつ物の管理基準の遵守	☒	☒	アニマルウェルフェアの考えに基づいた飼養 管理の考え方を認識している
☒	☒		☒	☒	農業機械等の装置・車両の適切な整備と管理 の実施に努める
☒	☒		☒	☒	正しい知識に基づき作業安全に努める
☒	☒		☒	☒	※和牛生産を行っている場合 (該当しない ☐) 家畜改良増殖法及び家畜遺伝資源に係る不正 競争防止に関する法律の遵守

完了報告時は右側の
「報告時」欄にチェック
して提出して下さい

＜報告内容の確認と個人情報取り扱いについて＞

・本チェックシートにて報告された内容については、農林水産省が対象
者を抽出し、実施状況の確認を行います。

・記入いただいた個人情報については、本チェックシートの実施状況確
認のために農林水産省で使用する、ご本人の同意がなければ第三者に提供
することはありません。 上記について、確認しました ☒

注 ※の記載内容に「該当しない」場合には口々にチェックしてください。

◆ この場合、当該項目の申請時・報告時のチェックは不要です。
上記はひな形であり、各事業によりチェックする取組は異なる場合が
あるため、各事業の要綱・要領などでご確認ください。

提出年月日(道府県協会提期限3月15日)

令和〇年

〇月

〇日

畜産ICT事業支払請求書 提出書類 確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。

No	提出書類	チェック欄
1	支払請求書 (別添14)	☒
2	支払請求書の提出内訳 別紙1(別添14添付用)	☒
3	事前検証状況 別紙2(別添14添付用)	☒
4	事業完了報告書(写し) (別添13)※添付資料を含む。 完了経営体数 : 〇戸数【支払請求書の(注)の3の(3)】	☒
必要な資料がすべて準備でき、確認表のチェックが終了しましたので、実施計画書の承認申請書を提出します。		
〇〇〇〇応援会議		

記別添14（第10の3の（2）関係）

番 号

令和〇年12月31日

公益社団法人中央畜産会会長 殿

（畜産ICT応援会議）

東京都東都市外神田1-1-1

神田ICT応援会議

会長 明神 太郎

令和〇年度ICT化等機械装置等導入事業 支払請求書

・中央畜産会から楽酪応援会議に対する補助金の交付決定通知の年月日及び文書番号を記入して下さい。
・また、補助金の変更や追加交付決定を受けている場合は、事例のように、及びにより併記して記入して下さい。

令和〇年度において、令和〇年10月10日付け〇年度発中畜第1002号及び令和〇年12月31日付け〇年度発中畜第2345号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年1月20日付27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙8の第10の3の（2）の規定に基づき、下記のとおり請求する。

区 分	総事業費	国庫補助金	その他	備考
機械装置導入事業	5,500,000	2,500,000	3,000,000	労働負担軽減経営体：1戸
計	5,500,000	2,500,000	3,000,000	

1 請求額 金 2,500,000 円

2 振込先金融機関名
支店名
預金の種別
口座番号
預金の名義

別紙1のとおり

今回請求分で金額をあわせる

備考欄に請求対象の労働負担軽減経営体戸数を記載

この欄は、交付決定額について記載して下さい。
なお、総事業費は、税込み金額です。

支拟请求言

畜産ICT応援会議名：

区 分	総事業費	補助金	既請求分		今回請求分		残額	
			総事業費	補助金	総事業費	補助金	総事業費	補助金
機械装置導入事業								
計								

複数回分けて報告する場合、事業実施状況報告の提出回数ごとに記入

[illegible]

参加承認された労働負担軽減経営体は全て記入して下さい。

※1 労働負担軽減経営体ごとに採番する。

- 参加承認通知のあつた機械ごとに記載することとし、「搾乳ロボット」、「搾乳ユニット搬送しール自動」、「搾乳ユニット搬送しール自動」、「ミルカー自動搾乳装置」、「自動乳頭洗浄機」、「自動給餌機（濃厚飼料）」、「自動給餌機（濃厚飼料）」、「餌寄せロボット」、「自走式配餌車」、「移動式母乳機」、「稲わら細断機」、「発情発見装置」、「分娩監視装置」、「行動監視装置（繁殖管理）」、「行動監視装置（放牧管理）」、「バーンスタレーパー」、「行動監視装置（放牧管理）」、「敷料散布機」のいずれかを記載。
- 「リース」又は「購入」を記載。
- 経営体からの支払請求書に記載された振込口座が経営体の口座の場合は「畜産ICT広域会議」と同じく契約したリース事業者の口座の場合には「リース事業者」と記載し、右にその口座名を記入する。
- 概算払請求の場合は、この欄を使用し、請求回ごとに対象者に○を付して下さい。

支払請求書の提出内訳

畜産 ICT 応援会議名：

神田 ICT 応援会議

○交付決定

区分	総事業費	補助金	既請求分		今回請求分		残額	
			総事業費	補助金	総事業費	補助金	総事業費	補助金
機械装置導入事業	62,700,000	28,500,000			62,700,000	28,500,000	0	0
計	62,700,000	28,500,000			62,700,000	28,500,000	0	0

○機械装置導入事業の請求内訳

経営体 No ※1	労働負担 軽減経営 体名	機械装置		事業費全体			導入 方式 ※3	支払先 ※4	振込先					備考 ※5		
		機械装置名 ※2	数量	事業費 (税抜)	事業費 (税込)	補助金			金融機関名	支店名	預金の 種別	口座番号	預金の 名義	既 請求分 対象者	今 請求分 対象者	残 額 対象者
1	中畜 太郎	搾乳ロボット	1	25,000,000	27,500,000	12,500,000	リース	リース 事業者	あかさ銀行	あかさ本 店	普通	1234567	7777-7		○	
		ほ乳ロボット	1	3,000,000	3,300,000	1,500,000			あかさ銀行	あかさ本 店	普通	1234567	7777-7			
2	酪農 一	搾乳ロボット	1	5,000,000	5,500,000	2,500,000	リース	リース 事業者	さきたま銀行	搾支店	普通	99999999	カ) サク ニューシェ ンリース		○	
3	天神 三郎	搾乳ユニット搬送レール 自動	1	14,000,000	15,400,000	7,000,000	リース	リース 事業者	あかさ銀行	あかさ本 店	普通	1234567	7777-7		○	
		自動給餌機(濃厚・粗飼料)	1	10,000,000	11,000,000	5,000,000			さきたま銀行	搾支店	普通	99999999	カ) サク ニューシェ ンリース			
	計			57,000,000	62,700,000	28,500,000										

○支払先は、基本的に、畜産 ICT 応援会議が振込先です。
しかし、機械装置等がリース契約の場合は、支払先をリース事業
者となります。
○一つの経営体で、機械装置はリース方式、施設整備は購入方式で
事業を実施した場合は、それぞれの支払先が明確になるように支払
先・振込先の項目をそれぞれ記載して下さい。

「労働負担軽減事業における成果検証の考え方について(参考5)」に基づき、事前計測を行った結果を記入し、提出していただきます。

検証における確認成果等																	備考 (注5)		
労働負担 軽減経営体 (又は構成 員)の名称 (注1)			労働負担 軽減経営体 (又は構成 員)の所在地			導入機械装置			機械導入前				機械導入後					1日あたり 総労働 時間の削 減率 (注4)	検証 方法
機械装置名	数量	機械価格 (円、税抜)	経産牛 頭数	労働者 数 (注2)	1日あたり 総労働時間 (注3)	経産牛 頭数	労働 者数	1日あたり 総労働時間	経産牛 頭数	労働 者数	1日あたり 総労働時間								
事業参加承認通知された労働負担軽減経営体を全て記載して下さい。 ※ 実施計画における成果目標の設定で、他の構成員も含めた目標を設定している場合は、その構成員も 参加承認通知された補助対象機械装置ごとに記載して下さい。 ※ 左欄で労働負担軽減経営体以外の構成員を記載している場合は、当該欄の記載は 注2に基づき記して下さい。 「1日あたり総労働時間」の欄に、年間総労働時間を記入したり、導入機械装置対応労働時間を記入してくる例がありますので、注意して記入して下さい。 1日あたり総労働時間 ＝年間総労働時間÷365日 備考欄には、労働負担軽減経営者の請求状況を記入して下さい。																			

「応援会議全体とされている減経営体とされている場合は」

「応援会議全体とされている」

減経営体とされている場合は

(注1) 記載して下せし。

(注2) 労働者数については、フルタイム労働者を1とし、パートタイム等については勤務時間の長さによって0～1の間の小数（第1位まで）を記入する。

(注3) 労働時間は、導入した機械に係る分野の労働だけではなく、酪生産等も含めた酪農に関する全ての労働にかかる時間を記入する。

(注4) 1日当たりの総労働時間削減率＝1－(機械導入後の1日あたり総労働時間÷機械導入前の1日あたり総労働時間)

(注5) 畜産ICT応援会議の中で、労働負担軽減経営体ごとに支払請求書が提出される場合には、備考欄に、労働負担軽減経営体の支払請求状況（今回請求分・既請求済分）を記入して下さい。

記入例

事前検証状況

畜産ICT応援会議名： 神田ICT応援会議

No	労働負担 軽減経営体 (又は構成 員)の名称 (注1)	労働負担 軽減経営体 (又は構成員) の所在地	導入機械装置			検証における確認成果等					備考 (注5)	
			機械装置名	数量	機械価格 (円、税抜)	機械導入前		機械導入後		1日あたり 総労働時間 の削減率 (注4)		
						経産牛 頭数	労働者 数 (注2)	1日当たり 総労働時間 (注3)	経産牛 頭数			労働者 数
1	中畜 太郎	東京都中央市畜33	搾乳ロボット	1	25,000,000	60	3.4	20.5				今回請求対象者
			哺乳ロボット	1	3,000,000							
2	酪農 ー	東京都東郡さきたま町搾111	哺乳ロボット	1	5,000,000	60	3.4	20.5				既請求対象者
3	天神 三郎	東京都東郡市外神田2ー2ー2	搾乳ユニット搬送レール自動給餌機 (濃厚・粗飼料)	1	14,000,000	72	4	24.1				今回請求対象者
					10,000,000							
				</								

(注1) 成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営体とされている場合は労働負担軽減経営体のみを、畜産ICT応援会議全体とされている場合は全構成員を記入する。

(注2) 労働者数については、フルタイム労働者を1とし、パートタイム等については勤務時間の「小数点第一位まで表示して下さい。」を記入する。

(注3) 労働時間は、導入した機械に関係する分野の労働だけではなく、飼料生産等も含めた酪農に関する全ての労働にかかる時間を記入する。

(注4) 1日当たりの総労働時間削減率＝1－(機械導入後の1日あたり総労働時間÷機械導入前の1日あたり総労働時間)

(注5) 畜産ICT応援会議の中で、労働負担軽減経営体ごとに支払請求書が提出される場合には、備考欄に、労働負担軽減経営体の支払請求状況(今回請求分・既請求分)を記入して下さい。

番 号
年 月 日

畜産ICT応援会議の名称が変更になった場合は、団体名を二段書きとし、上段に現在の団体名を、下段に括弧書きで記入して下さい。所在地及び代表者の役職及び氏名は現在の団体のものを記入して下さい。

（畜産ICT応援会議）

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

令和○年度ICT化等機械装置等導入事業
事業成果報告書

令和 年 月 日付け7年度発中畜第 号で交付決定通知のあったICT化等機械装置等導入事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年1月20日付27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙8の第9の1の規定に基づき別紙（対象となる別紙の番号を記入）の「令和 年度ICT化等機械装置等導入事業成果報告」を別添のとおり報告します。

【添付書類】

- (I) 対象機械装置の導入
・別添10 - 別紙1
- (I) 対象機械装置の導入
・別添10 - 別紙1
・別添10 - 別紙2

下段にあります【添付書類】が、

- ・リース方式により導入した場合は、「別紙1」と記入し、
- ・購入方式により導入した場合は、「別紙1と別紙2」と記入して下さい。

同年度に畜産ICT事業と楽酪GO事業を実施している場合は、「畜産ICT事業事業成果報告書」と「楽酪GO事業事業成果報告書」と両事業併せて提出して下さい。

令和 年度 ICT化等機械装置等導入事業成果報告

畜産ICT応援会議名：神田ICT応援会議

No	労働負担軽減経営体（又は構成員）の名称	労働負担軽減経営体（又は構成員）の所在地	導入機械装置			検証における確認成果等						検証方法	備考	
			機械装置名	数量	機械価格（円、税抜）	機械導入前			機械導入後					
						経産牛頭数	労働者数	1日当たり総労働時間	経産牛頭数	労働者数	1日当たり総労働時間			1日当たり総労働時間の削減率
1	中畜 太郎	東京都中央市畜33	搾乳ロボット	1	25,000,000	60	3.4	20.5	80	2	15.3	25.0%	作業日誌等により検証	ICT
			哺乳ロボット	1	3,000,000									
2	酪農 一	東京都東京郡さきたま町搾111	哺乳ロボット	1	5,000,000	60	3.4	20.5	62	2.5	20.4	0.0%	作業日誌等により検証	ICT
3	天神 三郎	東京都東都市外神田2-2-2	搾乳ユニット搬送レール自動	1	14,000,000	72	4.0	24.1	78	3.5	22.5	6.0%	作業日誌等により検証	ICT
			自動給餌機（濃厚・粗飼料）	1	10,000,000									
						</								

「1日当たり総労働時間の削減率」の表示にあたって、小数点2位以下を切り捨て、小数点第1位以上の数値を報告してください。
これは、成果目標値が10%以上となっており、10%未満の「9.99・・・%」である場合は、成果目標を達成していないこととなります。ご注意ください。

(注1) 成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営体とされている場合は労働負担軽減経営体のみを、畜産ICT応援会議全体とされている場合は全構成員を記入する。

(注2) 労働者数については、フルタイム労働者を1とし、パートタイム等については勤務時間の長さによって0～1の間の小数（第1位まで）を記入する。

(注3) 1日当たりの総労働時間削減率＝1－（機械導入後の1日あたり総労働時間÷機械導入前の1日あたり総労働時間）

(参考5)

ICT 化等機械装置等導入事業における成果検証の考え方について

本事業における成果目標の設定に当たっては、全国的に統一的な手法として、「削減が期待される年間労働時間の考え方」により試算された各労働負担軽減経営体の削減労働時間を使用し、応援会議全体として削減目標を作成していただいております。

なお、応援会議は、労働時間の削減率（10%以上低減）を目標設定することとされています。

一方、成果報告に当たっては、実際の削減効果を測る必要があることから、実施計画に記載された経営体の実態を個別に検証する必要があります。

1 検証の対象

本事業では、削減効果を確認するため、労働負担軽減経営体における事業実施前後の労働時間（1人あたりの年間労働時間）を検証していただきます。

なお、検証は労働負担軽減経営体における総労働時間となります。

2 検証にあたっての留意点

(1) 検証方法

① 具体的な労働時間の測定方法については、各応援会議において任意としますが、以下のような方法が考えられます。

○ 作業日誌等を用いた労働負担軽減経営体自身の記録記帳に基づく検証

○ 多数の従業員が、分業制、シフト勤務制、定時の休憩時間制などにより勤務している場合に、タイムカード等の勤怠管理資料による検証

○ 地域の支援機関、外部コンサルタントなど活用した第三者による調査

② 検証方法は①に限るものではありませんが、第三者に対し、測定方法の客観性や妥当性が説明できる方法としてください。また、どのような検証を行う場合においても、各応援会議内において、原則、統一的な検証方法として下さい。

(2) 検証時期・期間

① 検証時期（機械装置導入後の労働時間の測定時期）は各応援会議における任意としますが、事業実施前後の比較が可能なよう、機械装置導入前の測定時期と翌年同時期に行って下さい。

② 測定期間は、導入する機械装置の種類・機能、さらには飼養頭数などを考慮し設定することとし、一定期間（1週間以上）、作業日誌等を記録してください。

また、分娩監視装置や発情発見装置の効果検証は、1週間の記録では不十分な場合もあるため、監視対象となる牛が複数頭現れる期間の労働時間を継続して測定する、又は、1頭当たりの監視に要する時間を計測し、年間の監視時間を推定する等により、装置の導入効果を検証してください。

(3) 検証記録の保管

成果の検証に用いた作業日誌等資料については、応援会議において保管して下さい。

なお、保管期間は、「帳簿等の整備保管等」において示されている期間と同期間保管して下さい。

3 (参考) 作業日誌を用いた検証方法の例

以下に、労働負担軽減経営体自身の記録記帳に基づく調査方法の例を示します。
(なお、あくまでもこの調査方法は例示であり、実際の調査方法についてはこの限りではありません)

方法1 作業日誌(日報方式)を活用した検証方法の例

(1) 概要

あらかじめ連続した測定期間(○日間)を決め、1日当たり1枚の作業日誌(日報方式)に記録記帳。測定した日数(記録記帳した日誌の枚数)分の労働時間から1日当たり標準労働時間を算出し、年間総労働時間を推定する。

(2) 様式例

作業日誌A(日報方式:例)

(3) 作業日誌の記録方法【様式例:作業日誌A(日報方式)】

- ① 経営体名、測定期間(○月○日～○月○日)、従事者名等を入力
- ② ①について、測定日数分の枚数をコピー。
- ③ 測定日ごとに、作業内容毎に労働時間帯を記録(網掛け)し、1日当たりの作業時間を記入。
- ④ 1日の終了時に、1日当たり労働時間の計を算出。

(4) 年間労働時間の推定

- ① 測定期間の労働時間＝記録記帳した作業日誌(日報方式)の労働時間の和
- ② 1日当たり標準労働時間＝①÷測定日数(日報の枚数)
- ③ 年間総労働時間＝②×365日

方法2 作業日誌(月報方式)を活用した検証方法の例

(1) 概要

あらかじめ検証月を決め、作業区分ごとに測定した日のみ作業時間を記録記帳。
これを基に1日当たり標準労働時間を算出し、年間総労働時間を推定する。

(2) 様式例

作業日誌B(月報方式:例)

(3) 作業日誌の記録方法

- ① 測定年月(○年○月)、作業区分毎の従事者名を入力。
- ② 作業区分毎に測定日を決め、その測定日に作業区分かつ作業者の時間を入力。
- ③ 集計欄を用いて、1日当たり標準労働時間を計算。

(4) 年間労働時間の推定

年間総労働時間

＝作業日報(月報方式)に基づく1日当たり標準労働時間×365日

4 事業成果報告の提出

実施要領別紙9の第9の1の(1)に基づき、応援会議は、事業実施翌年度に検証した結果を、事業実施の翌々年度の6月末までに、事業実施主体に報告することとなっています。

具体的には、事業実施年度の支払請求書に添付書類別紙2(別添14添付用)「事前検証状況」の機械導入前の検証値が、事業実施翌年度の機械導入後の検証値を記入し、**1日当たり総労働時間の削減率を確認**し、その成果を確認するものであります。

經營體名

△△年△△月

-78-